



**Kumamoto University**

# 熊本大学概要

2017





熊本大学の校章は、熊本市の市木でもあり、キャンパス内にも多く植えられている「銀杏」がモチーフとなっています。



熊本大学  
Kumamoto University

学内外のコミュニケーションの活発化を目的としたコミュニケーションマークは、くまもとの「く」を象っていると同時に、Kumamotoの「K」を変化させ、さらに前進していく矢印をイメージし、校旗を彩る紫紺とうこんで彩色したデザインです。伝統を尊重しながら、躍進を続ける熊本大学を象徴しています。

# 創造する森 挑戦する炎



本学の理念・根源的な特質を社会に広く訴えることを目的としたコミュニケーションワード

## — 理念 —

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

## — 目的 —

### 教育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

### 研究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

### 地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

# CONTENTS

<b>1 組織</b>			
管理運営体制	1		
教育研究組織等	2		
事務組織	4		
役職員	5		
<b>2 教育研究等</b>			
学部	7		
大学院	9		
専攻科・別科	12		
研究所	12		
機構	13		
学内共同教育研究施設	14		
保健センター、障がい学生支援室、文書館	15		
学外オフィス	16		
寄附講座	18		
共同研究講座	18		
医学部附属病院	19		
附属図書館	20		
<b>3 職員・学生数等</b>			
役員等数・職員数	21		
学生・生徒・児童及び幼児数	22		
入学状況	25		
卒業後の状況	26		
修了後の状況	27		
学位授与数	28		
奨学生数	28		
<b>4 国際交流</b>			
国際交流協定	29		
研究者の派遣・受入れ	30		
海外派遣留学生	31		
海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム	32		
国際奨学事業	32		
外国人留学生	33		
国際交流会館	33		
<b>5 社会連携</b>			
生涯学習	34		
包括的連携協定等	35		
五高記念館入館者数	35		
<b>6 福利厚生施設</b>			
福利厚生施設	36		
<b>7 財政</b>			
平成29年度収入・支出予算額	37		
科学研究費助成事業採択状況	38		
外部資金等受入状況	38		
主な競争的資金採択状況	39		
<b>8 キャンパス</b>			
土地・建物面積	40		
位置図	41		
主要施設等配置図	42		
<b>9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム</b>			
.....	45		
<b>10 沿革略図</b>			
沿革略図	47		
<b>11 沿革略年表</b>			
沿革略年表	49		

## 学年暦

■ 学年開始	4月1日	■ 夏季休業	8月11日～9月30日	■ 卒業式	3月25日
■ 前学期	4月1日～9月30日	■ 後学期	10月1日～3月31日	■ 学年終了	3月31日
■ 春季休業	4月1日～4月3日	■ 開学記念日	11月1日		
■ 入学式	4月4日	■ 冬季休業	12月25日～1月10日		

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

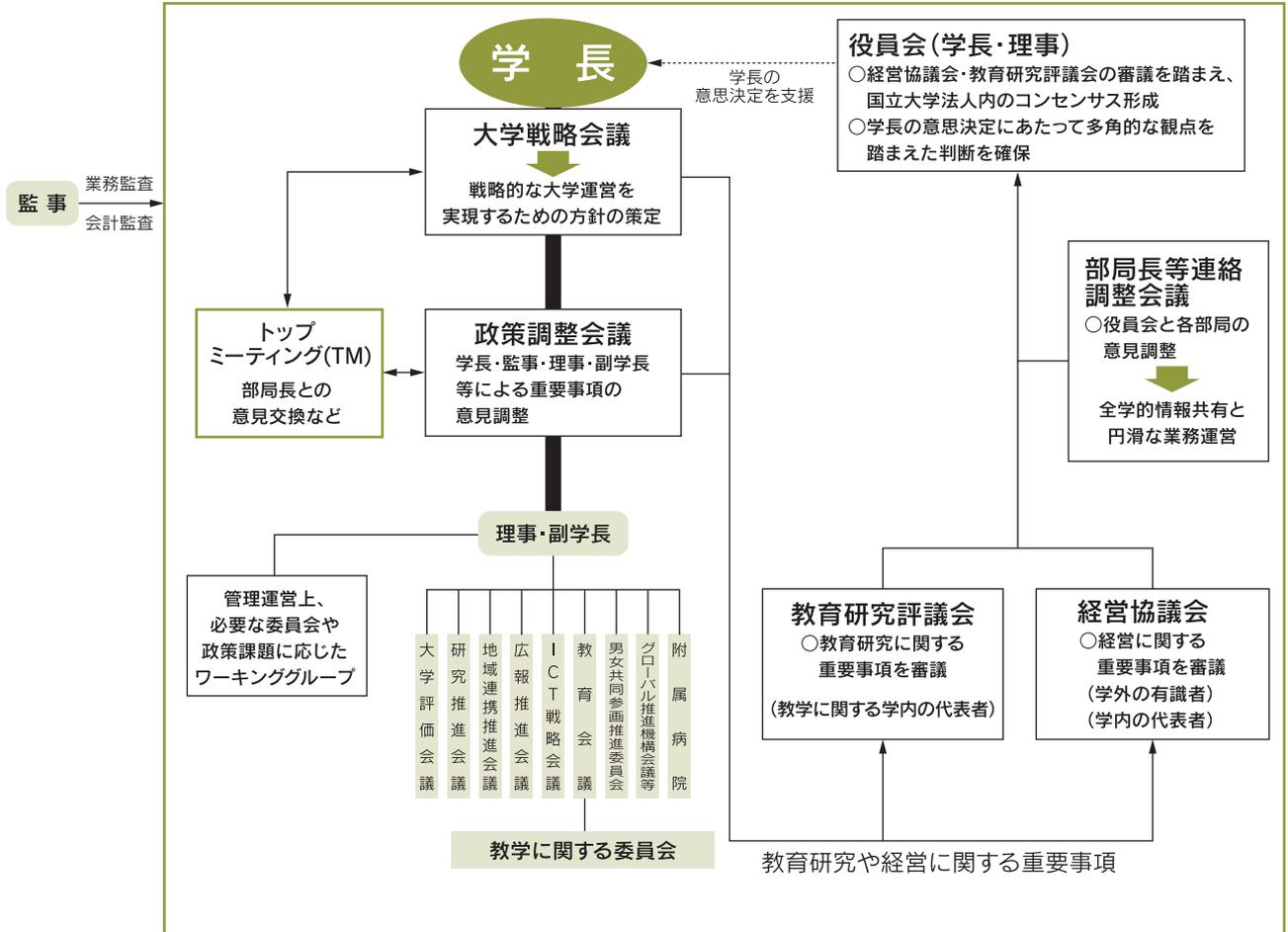
熊本大学  
ユニバーシティ・ミュージアム

沿革略図

沿革略年表

# 管理運営体制

## 概念図



## 組織図

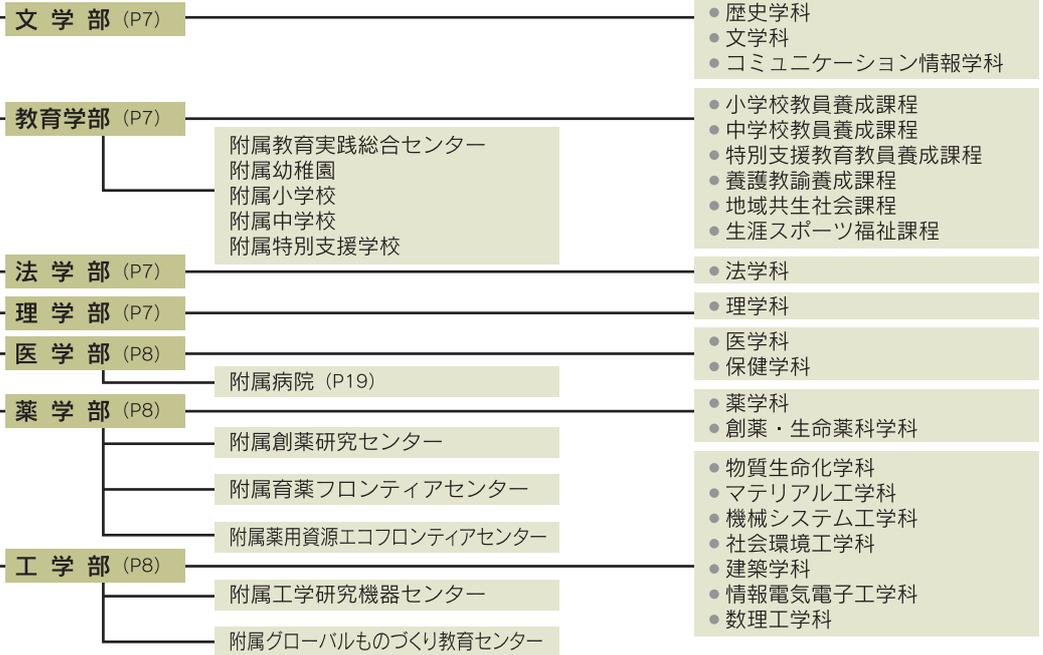


# 教育研究組織等

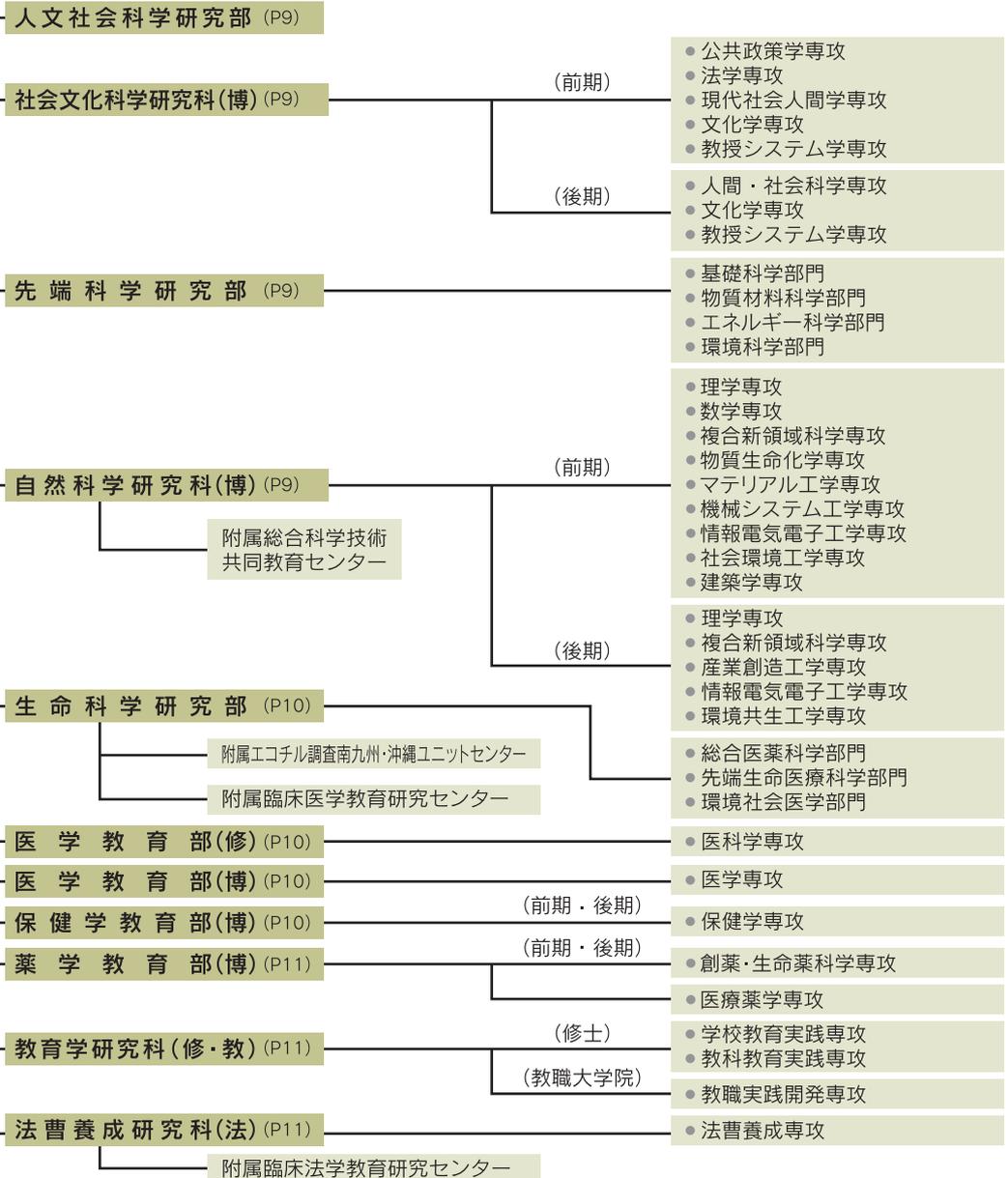
(H29.5.1現在)

熊本大学

学部



大学院

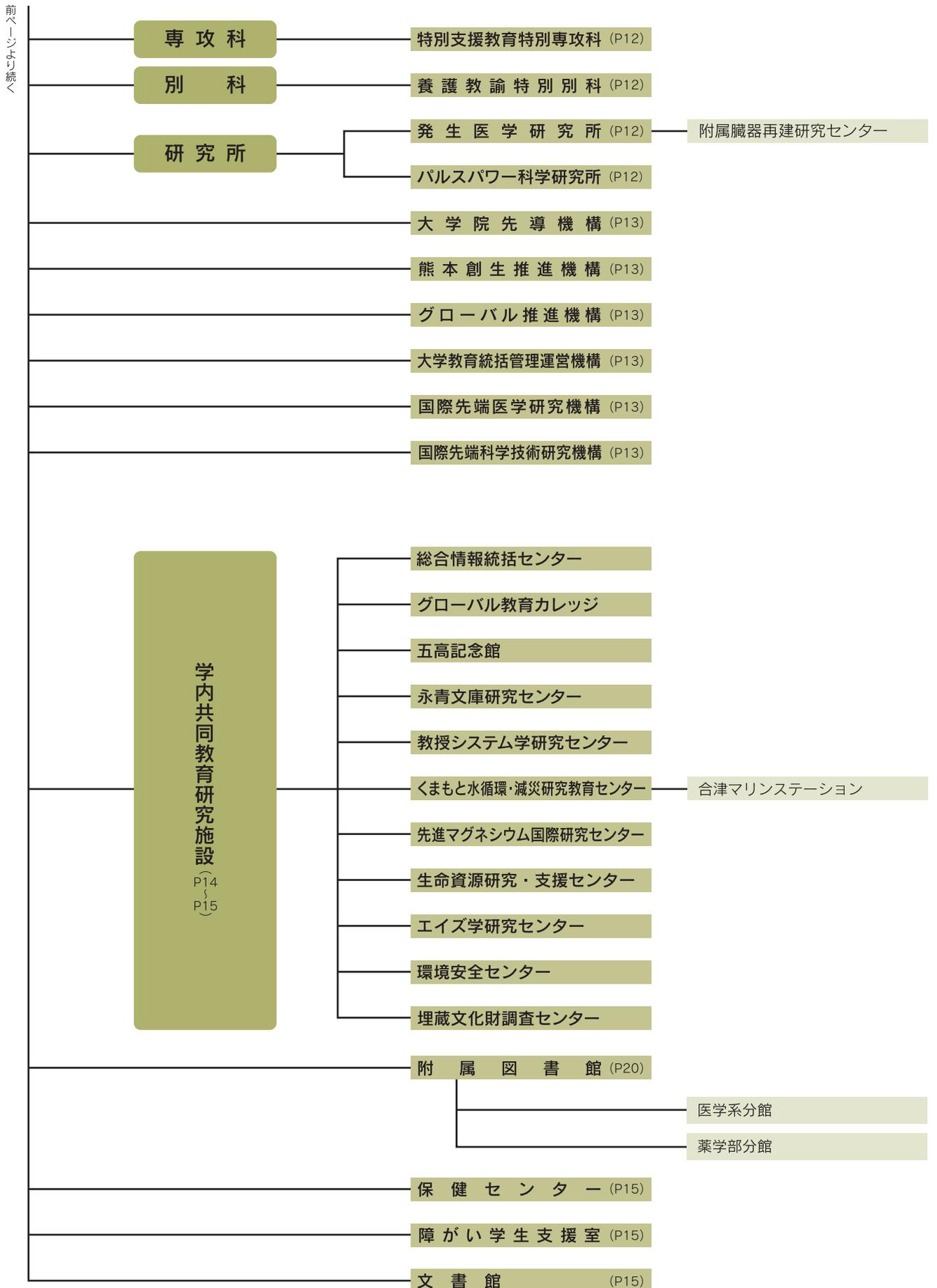


次ページへ続く

組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティ・プログラム  
沿革略図  
沿革略年表

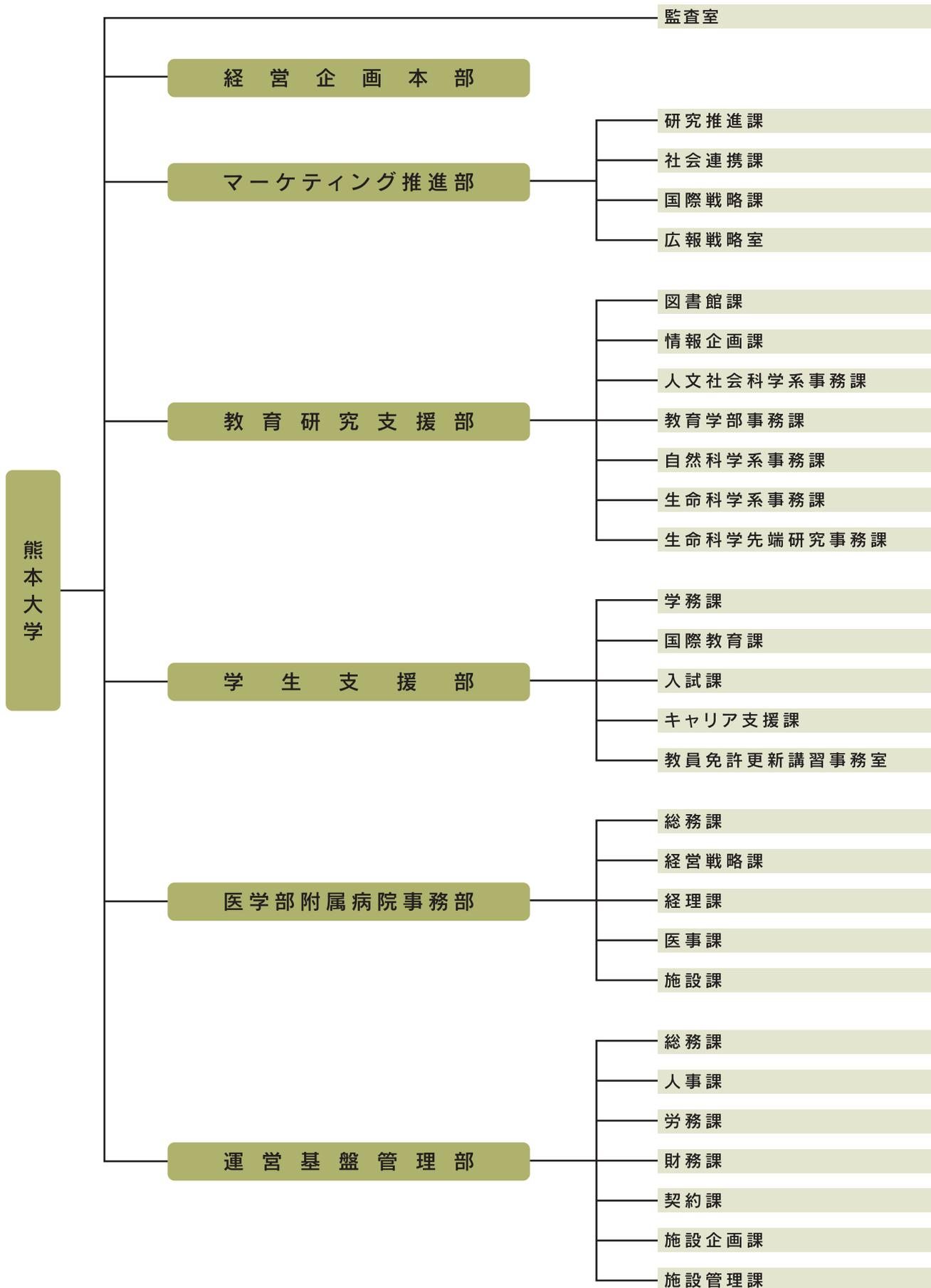
# 1 組織

## 教育研究組織等



# 事務組織

(H29.4.1現在)



組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティミュージアム

沿革略図

沿革略年表

# 1 組織

## 役職員

### 役員

<b>学長</b>	原田 信志	
<b>理事</b>	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当	西川 泉
	特命担当(非常勤)	潮谷 義子
<b>監事</b>	業務監査	浅井 裕
	会計監査(非常勤・公認会計士)	鶴田 哲三

### 副学長

国際交流担当	高島 和希
病院経営担当(医学部附属病院長)	水田 博志

### 顧問

元国立大学法人 熊本大学長	崎元 達郎
元国立大学法人 熊本大学理事	小野 友道
元国立大学法人 熊本大学理事	平山 忠一
元国立大学法人 熊本大学理事	田口 宏昭
元国立大学法人 熊本大学副学長	古川 憲治
前国立大学法人 熊本大学長	谷口 功
前国立大学法人 熊本大学理事	山中 至
前国立大学法人 熊本大学理事	両角 光男
前国立大学法人 熊本大学理事	安部 眞一

### 学長特別補佐

教養教育担当	大学院先端科学研究部	教授	濱名 裕治
教育担当	大学院生命科学研究部	教授	石塚 忠男
学生担当	大学教育統括管理運営機構	教授	齋藤 靖
入試担当	教育学部	教授	宮崎 誓
留学生就職支援担当	大学院先端科学研究部	准教授	伊賀崎 伴彦
広報担当	大学院人文社会科学研究部	教授	大日方 信春
研究担当	大学院人文社会科学研究部	教授	慶田 勝彦
研究担当	大学院先端科学研究部	教授	谷 時雄
情報ガバナンス担当	大学院先端科学研究部	教授	西本 昌彦
社会貢献担当	大学院先端科学研究部	教授	中西 義孝
COC+担当	大学院先端科学研究部	教授	新留 琢郎
熊本復興プロジェクト担当	大学院先端科学研究部	教授	柿本 竜治
研究不正防止担当	大学院生命科学研究部	准教授	門岡 康弘
国際担当	教育学部	准教授	池田 志郎
国際担当	大学院生命科学研究部	教授	宋 文杰
国際担当	グローバル教育カレッジ	教授	小池ウラスラヘレナ
男女共同参画担当	教育学部	教授	宮瀬 美津子
学長特命(IR)担当	大学院先端科学研究部	准教授	鯉沼 陸央
学長特命(IR)担当	総合情報統括センター	教授	中野 裕司

(H29.6.1現在)

### 経営協議会

<b>学長</b>	原田 信志	
<b>理事</b>	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当	西川 泉
	<b>教育研究評議会等</b>	文学部長
理学部長		市川 聡夫
大学院生命科学研究部長		安東 由喜雄
医学部附属病院長		水田 博志
株式会社肥後銀行代表取締役頭取 九州フィナンシャルグループ代表取締役会長 熊本経済同友会代表幹事		甲斐 隆博
太陽光発電技術研究組合名誉顧問		桑野 幸徳
国立大学法人名古屋大学理事		郷 通子
熊本保健科学大学長		崎元 達郎
くまもと新世紀株式会社(ホテル日航熊本)代表取締役会長 熊本商工会議所会頭		田川 憲生
熊本県副知事		田嶋 徹
<b>学外委員</b>	日本製紙株式会社代表取締役会長	芳賀 義雄
	株式会社熊本放送(RKK)報道制作局アナウンス部部长代理	福島 絵美
	熊本大学同窓会連合会会長 医療法人社団寿量会熊本機能病院顧問 NPO法人熊本高齢社会活性化研究センター長	二塚 信
	NPO法人ワークショップいふ理事長	星子 邦子
	公益財団法人永青文庫常務理事 熊本県文化協会会長	吉丸 良治

### 教育研究評議会

<b>学長</b>	原田 信志	
<b>理事</b>	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当	西川 泉
	<b>副学長</b>	国際交流担当
病院経営担当(医学部附属病院長)		水田 博志
<b>学部</b>	文学部長	水元 豊文
	教育学部長	八幡 英幸
	法学部長	深町 公信
	理学部長	市川 聡夫
	工学部長	宇佐川 毅
<b>大学院</b>	人文社会科学研究部長	水元 豊文
	社会文化科学研究科長	田中 朋弘
	先端科学研究部長	宇佐川 毅
	自然科学研究科長	宇佐川 毅
	生命科学研究部長	安東 由喜雄
	医学教育部長	安東 由喜雄
	保健学教育部長	吉永 一也
	薬学教育部長	甲斐 広文

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティシステム

沿革略図

沿革略年表

法曹養成研究科長	松原 弘信
附属図書館長	高宮 正之
発生医学研究所長	西中村 隆一
パルスパワー科学研究所長	勝木 淳
総合情報統括センター長	杉谷 賢一
くまもと水循環・減災研究教育センター長	柿本 竜治
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三

グローバル教育カレッジ長	高島 和希
五高記念館長	伊東 龍一
永青文庫研究センター長	稲葉 継陽
教授システム学研究センター長	鈴木 克明
くまもと水循環・減災研究教育センター長	柿本 竜治
先進マグネシウム国際研究センター長	河村 能人
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三
環境安全センター長	外川 健一
埋蔵文化財調査センター長	伊藤 正彦
附属図書館長	高宮 正之
保健センター長	藤瀬 昇

## 部局長等

学部	文学部長	水元 豊文
	教育学部長	八幡 英幸
	附属教育実践総合センター長	干川 隆
	附属幼稚園長	緒方 信行
	附属小学校長	島田 秀昭
	附属中学校長	島谷 浩
	附属特別支援学校長	坂下 玲子
	法学部長	深町 公信
	理学部長	市川 聡夫
	医学部長	安東 由喜雄
	附属病院長	水田 博志
	薬学部長	甲斐 広文
	附属創薬研究センター長	杉本 幸彦
	附属育薬フロンティアセンター長	平田 純生
附属薬用資源エコフロンティアセンター長	渡邊 高志	
大学院	工学部長	宇佐川 毅
	附属工学研究機器センター長	町田 正人
	附属グローバルものづくり教育センター長	富村 寿夫
	人文社会科学部研究部長	水元 豊文
	社会文化科学研究科長	田中 朋弘
	先端科学研究部長	宇佐川 毅
	自然科学研究科長	宇佐川 毅
	附属総合科学技術共同教育センター長	宇佐川 毅
	生命科学部研究部長	安東 由喜雄
	附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター長	加藤 貴彦
	附属臨床医学教育研究センター長	尾池 雄一
	医学教育部長	安東 由喜雄
	保健学教育部長	吉永 一也
	薬学教育部長	甲斐 広文
教育学研究科長	八幡 英幸	
法曹養成研究科長	松原 弘信	
附属臨床法学教育研究センター長	松原 弘信	
発生医学研究所長	西中村 隆一	
附属臓器再建研究センター長	江良 択実	
パルスパワー科学研究所長	勝木 淳	
大学院先導機構長	原田 信志	
熊本創生推進機構長	原田 信志	
グローバル推進機構長	原田 信志	
大学教育統括管理運営機構長	古島 幹雄	
国際先端医学研究機構長	須田 年生	
国際先端科学技術研究機構長	檜山 隆	
総合情報統括センター長	杉谷 賢一	

## 事務部門

監査室	監査室長	田尻 邦治
経営企画本部	経営企画本部長	大川 鉄也
	課長(経営企画担当)	中村 栄作
	課長(大学政策支援担当)	福本 哲也
マーケティング推進部	マーケティング推進部長	柳瀬 寿
	研究推進課長	土井 昭人
	社会連携課長	吉本 昭彦
	国際戦略課長	福村 竜也
	広報戦略室長	後藤 正三
	教育研究支援部	教育研究支援部長
学生支援部	図書館課長	高木 貞治
	情報企画課長	森 保夫
	人文社会科学系事務課長	後藤 光弘
	教育学部事務課長	松村 健史
	自然科学系事務課長	吉井 裕治
	生命科学系事務課長	中村 志郎
	生命科学先端研究事務課長	西川 毅
	学生支援部長	北村 敏夫
	学務課長	磯田 信一
	国際教育課長	西川 洋子
医学部附属病院事務部	入試課長	前迫 誠
	キャリア支援課長	日和田 伸一
	教員免許更新講習事務室長	大山 俊博
	事務部長	深澤 博昭
	総務課長	澤田 敬
	経営戦略課長	丸山 義美
	経理課長	五島 哲哉
	医事課長	月岡 信隆
	施設課長	馬場 政秀
	運営基盤管理部	総務担当部長
運営基盤管理部	総務課長	山内 浩一
	人事課長	蛭名 博文
	労務課長	芹川 克朗
	財務担当部長	前谷 嘉一
	財務課長	増村 隆之
	契約課長	久保田 英明
	施設担当部長	濱田 智
	施設企画課長	佐藤 治行
	施設管理課長	松下 栄司

## 2 教育研究等

# 学部

## 文学部

文学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年5月に新制熊本大学法文学部文学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、文学部として独立しました。現在の教育・研究組織は、総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科の4学科9教育コースを有し、毎年170名の学生を迎えています。教育スタッフはおよそ70名で、人間・社会・文化にかかわる22の領域にわたって教育研究を行っています。

研究事業としては、外部資金を獲得した大型プロジェクトを含め、さまざまな分野において意欲的に研究活動を展開しているほか、文化行政諸機関やNPO法人・一般企業など地域と連携した文化事業や教育活動にも積極的に取り組んでいます。学部としての事業である「文学部フォーラム」もそのひとつです。このような地域連携活動は、教育面においても在学生に対し早くから社会とのかかわりを意識させるなど、進路支援の側面でも効果を上げています。



独文学演習の一コマ



文法学部本館とアコラ広場

## 教育学部

教育学部は、明治7年5月開校の(県立)熊本師範学校等を前身としており、昭和24年5月に新制熊本大学が設置されたことに伴い、熊本大学教育学部として設置されました。

現在、教育学部には、義務教育関連の教員を養成する小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、特別支援学校教員養成課程及び養護教諭養成課程の4つの課程と、社会教育及び福祉等の学校教育以外の指導者養成を目的とした生涯スポーツ福祉課程並びに地域共生社会課程が設置されています。(生涯スポーツ福祉課程並びに地域共生社会課程は平成29年度から学生募集を停止しています。)

また、「附属教育実践総合センター」では、教育実習関係の指導のほか、教育相談等、教育現場の諸問題に対する対応と実践的研究を行っています。

さらに、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校は、学部との教育・研究面での強い連携と協働により、2~4年次の教育実習指定校として、また九州地域の教育実践研究の先導的なモデル校としてその役割を果たしています。

教育学部の目的は、広い視野と深い教養を持った豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成であり、生涯にわたって創造的な知的探究を続ける人材を養成することを目指しています。



教職実践演習報告会

## 法学部

法学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年に新制熊本大学法文学部法学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、法学部として独立しました。平成15年度までは法学科と公共政策学科の2学科編成としていましたが、大学院法曹養成研究科の設置に伴い、平成16年度からは1学科(法学科)2コース制を採用し、法学と公共政策に関する基本・基礎教育を行っています。

熊本大学法学部の教育目的は、法的知識を基礎として、法的あるいは政策的に「考える力」「表現する力」「議論する力」を身につけ、現代社会に生起する具体的な問題を解決し得る基礎的能力を育成することにあります。このため1年次から4年次まで演習科目を必修として開講し、少人数で行き届いた教育を行っています。

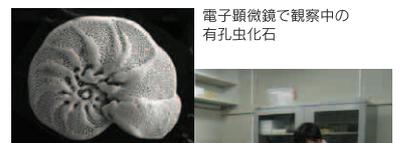


## 理学部

理学部は、明治20年10月熊本に設置された第五高等中学校の理科と熊本工業専門学校の一部を母体として、昭和24年5月新制熊本大学の1学部として設置されました。

理学部の学科は理学科1学科となっています。学生は、入学後の2年間で自ら適性を見極めて、数学・物理学・化学・地球環境科学・生物学の5つのコースから自分の志望するコースを選び、3年次以降の専門課程に進みます。また、学部スタッフによるチューター制を導入し、一人一人の学生に対して教育サービスを提供しています。

理学部は基礎研究を行う一方、地域や社会のニーズに応じた研究にも積極的に取り組んでいます。卒業後は、半数以上が大学院博士前期課程に進学し、残り約半数の学生が教員・企業・官公庁といった進路に進んでいます。



電子顕微鏡で観察中の有孔虫化石



## 医学部

医学部は、医学士教育課程である6年制の医学科と、保健学士教育課程である4年制の保健学科により構成されています。前者の卒業生は国家試験を経て医師や研究者に、後者の卒業生は同様に看護師、保健師、助産師、診療放射線技師及び臨床検査技師や研究者になります。

現在、医学部キャンパスでは再開発が進行中で、医学教育図書棟、西病棟および東病棟が相次いで完成しました。さらに平成26年9月から新外来診療棟、29年初めからは新臨床医学研究棟が使用されるようになり、数年以内に充実した医学教育研究環境が完備されます。

医学科は、明治29年の私立熊本医学校設立以来、1万人を越す卒業生を輩出しています。医学専門教育は、大学院生命科学研究部の医学系教員が担当しており、先端的な医学研究や臓器別診療の枠組みを基盤とした教育カリキュラムを構築しており、豊かなりサーチャイブを持ち人間的で意思疎通能力の高い医師を育てる教育を実施しています。また、臨床医学教育研究センターを中心に医学教育の更なる強化を図っております。

保健学科は、前身の熊本大学医療技術短期大学部（専攻科助産学特別専攻を含む）と本学教育学部特別教科（看護）教員養成課程が統合され、平成15年10月に設置されました。看護学専攻、放射線技術科学専攻および検査技術科学専攻の3専攻で構成されており、生命や人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門知識・技能を備え、チーム医療のスタッフとして地域及び国際社会に貢献できる資質の高い医療技術者、研究者、教育者を育成しています。



臨床医学教育研究センター

## 薬学部

薬学部では、“薬学は医薬を通じて人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職能等に関わる基礎知識を修得させ、生命科学を基礎とする高度な創薬・育薬研究能力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指し、知識・技能・態度の3つの観点から最新の講義並びに基礎実習及び臨床実習を行っています。卒業後の進路は、病院・薬局薬剤師、製薬・化学企業、官公庁など多彩ですが、卒業生の多くは大学院に進学し、薬学研究者及び高度薬剤師を目指しています。

平成18年度には、薬剤師養成6年制課程として「薬学科」を設置するとともに、従来の4年制学科の特色を活かした研究者養成に特化した「創薬・生命薬科学科」を設置しました。さらに、一流の創薬研究者を養成するとともに医薬品の開発を目指す教育、研究拠点として、日本初の「創薬研究センター」を設置しました。

また、平成20年度には、育薬を推進する人材育成、薬剤師の生涯教育、職能支援及び地域医療への貢献を行う教育、研究拠点として、「育薬フロンティアセンター（模擬薬局（平成21年設置）を含む）」を設置しました。

さらに、平成22年度には、薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンターを設置し、「薬の素になる薬用資源の啓発、教育・研究を推進する」ことを目的に、薬用植物の栽培・育種・保護、薬用植物からの有用資源の探索、海洋資源からの機能性物質の探索などの教育・研究活動を行い、その資源を社会に還元すると共に、人材育成を行っています。



薬学部実習風景



薬学部A棟

## 工学部

工学部は明治30年旧制第五高等学校に設立されて以来、3万数千人に及び卒業生を社会に送り出し、わが国の科学技術や経済の発展に大きく寄与してきました。今や活躍の場は世界へと広がっており、海外の大学との教育研究に関する交流協定締結や海外でのフォーラム開催などを通して国際的な連携や拠点づくりに発展しています。本学部では特に問題解決能力や新規分野を開拓発展させる能力を備え、人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与できる技術者、研究者の養成を目的としており、創造教育としての「ものづくり」から社会との連携を図りながら実現化する「ものづくり」にまで力を入れています。また、優秀で理数科目に特に強い興味と意欲を持つ学生を対象に少人数教育での特別プログラムが用意されており、科学技術分野において国際的視野を持つ技術者、研究者の育成にも力を入れています。企業からの求人、採用状況はたいへん良好ですが、多くの学生はより高度の専門知識やスキルを修得するため、大学院（博士前期課程）に進学しています。さらに、ものづくり教育を支える「ものづくり工房とまちなか工房」、高度な分析機器を備えた「工学研究機器センター」、先端加工機械を導入した「中央工場」などを有し、教育、研究に必要な施設や設備も充実しています。



熊木の滝分水路（2012年グッドデザイン・サステナブルデザイン賞受賞）



ものづくりワークショップ（グローバルものづくり教育センター）

## 2 教育研究等

# 大学院

## 人文社会科学部

大学院の重点化に伴って、生命科学研究部及び先端科学研究部に続き、平成29年4月1日に文学部、法学部、大学院社会文化科学研究科、大学院法曹養成研究科が改組され、教員組織である「大学院人文社会科学部」が発足しました。

人文社会科学部が新たに設置されることで、生命科学系、自然科学系及び人文社会科学系分野を軸とした教員組織が整備され、若年人口の急激な減少や社会のグローバル化を見据え、また、大学教育の質の確保の観点から教育プログラムを機動的かつ柔軟に見直すことが可能となります。

人文社会科学部内においては、活力ある地域社会の発展に寄与するとともに、国際的な文化・学術の発信力を高める人文社会科学の研究拠点の創成を目指し、人文系、社会科学系及び法曹養成系教員の研究資源の連携を強化することで、国際レベルの研究を推進していきます。特に人文系における心理学、歴史学、社会学などの分野で、海外の大学との連携を強化することで文化の発信力を高め、従来の受容型から発信型へと文化研究を転換させていきます。

また、人文系、法学系、政策系の研究資源を集約・融合して紛争解決学の分野の充実を図り、地域社会との連携や海外の大学との連携を強化し、国際水準の研究の基盤を作るとともに、社会からの要請に応える応用的かつ実践的な研究の発展を目指しています。

## 社会文化科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

社会文化科学研究科は、平成14年4月に文学部・法学部の専門領域の上に学際的・総合的な独立研究科として後期3年博士課程が設置され、平成18年4月にはeラーニング専門家の育成を目指した教授システム学(修士課程)が新設されました。また、平成20年4月からは、これまでの社会文化科学研究科と文学研究科(修士課程)、法学研究科(修士課程)を再編統合し、博士前期課程と博士後期課程より構成される新しい組織となりました。

博士前期課程には、従来型の研究コース(8コース)と教授システム学に加え、新しく、公共政策、交渉紛争解決・組織経営、東アジア・ビジネス・コミュニケーション、文化行政・学芸員、英語教育等の専門職コース(7コース)が設置され、広く社会的ニーズに応える教育を実現します。

博士後期課程では高度専門職業人と研究者の養成を目指し、人間文化の諸側面の研究及び現代にふさわしい文化政策形成を目指す「文化学専攻」と、新しい社会システムの構築・政策研究及びその理論的基礎付けを目指す「人間・社会科学専攻」、また「教授システム学専攻」の3つの専攻が置かれ、博士前期課程からの進学者だけでなく、社会人、留学生にも門戸を開いています。



## 先端科学研究部

大学院の重点化の流れの中で、生命科学研究部に続き、平成28年4月に大学院自然科学研究科が改組され、教員組織である「先端科学研究部」が発足しました。研究部は、組織運営を担当し、大学院教育については「自然科学研究科」が担当する形に生まれ変わりました。

先端科学研究部は、「基礎科学」「物質材料科学」「エネルギー科学」「環境科学」の4部門からなる研究組織で、各部門には合計36の分野を置いています。研究部として、地球環境共生と活力ある社会の持続的発展に貢献する自然系先端科学とその応用技術の高度な学術研究拠点の創成を目指し、理学系及び工学系の連携・協力により、独創的かつ先導的な学術研究と社会的要請に応える応用研究を推進し、科学技術の総合的な深化と新たな科学技術の創成、並びに大学院の個性化を達成することを目的に活動を進めたところです。

## 自然科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

自然科学研究科は、平成18年度から理学部と工学部の全教員が自然科学研究科に所属する大学院重点化と一元化の改組を行い、研究を主軸に据えた教育を行う研究大学院としてスタートしました。学部との連続性により理学と工学の専門性をより深く研究教育する専攻(前期課程8専攻と後期課程4専攻)と先端的複合・融合新領域を研究教育する専攻(前・後期課程の複合新領域科学専攻)から成っています。

本研究科では、理学と工学の先端融合の理念のもとに、自ら課題を探索・抽出し、その課題を自ら解析、解決でき、しかも国際的に強いリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的にしています。平成19年度に採択された文部科学省の大学院教育改革支援プログラム「大学院科学技術教育の全面英語化計画」と平成21年度に採択された「イノベーション創出のための大学院教養教育」の成果を踏まえ、総合科学技術共同教育センター(GJEC)では、学生の海外派遣、英語教育を積極的に推進しています。GJECの活動の一環として、平成20年に開始した学生国際会議(ICAST)は、平成28年12月の熊本開催で11回を数え、これまで自然科学研究科の学生が多くの交流協定先の学生とともに会議を運営してきました。さらに、平成22年度には地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点(GelK)が採択されるなど、国際的教育研究拠点の構築も着々と進んでいるところです。



2016年12月熊本で開催された学生国際会議(ICAST)

## 生命科学研究部

大学院の重点化に伴って、平成15年4月に従来の医学部(医学科)と薬学部が一体化し、「医学薬学研究部」が発足しました。研究部は、研究推進、教員人事や組織運営を主な任務とし、大学院教育を担当する部局として「医学教育部」及び「薬学教育部」が設置され、「医学部」及び「薬学部」は学部教育を担当する部局になりました。平成22年1月には、研究部に医学部保健学教科員が加わり、新たに「生命科学研究部」として改組されました。

生命科学研究部は、3部門15講座75研究分野からなる日本最大級の研究に特化した生命科学系教員組織です。「総合医薬科学部門」では、医学・薬学分野の基盤的な学問体系の深化を目指した研究を、「先端生命医療科学部門」では移植医療や分子創薬などの生命科学分野の先端的研究を、「環境社会医学部門」では、“医学・薬学と社会”並びに“疾病と環境”の関わりを科学的に究明するとともに、生命倫理に関する先導的研究を推進しています。生命科学研究部は、生命と医療に関する研究と教育を通じて、人類の健康と福祉に貢献することを使命としています。



基礎医学研究棟

## 医学教育部(修士課程、博士課程)

医学教育部は、平成15年4月、医学研究者・教育者ならびに高度医療人を育成するための、大学院教育に特化した組織として設置されました。医学教育部は、4年制の博士課程と、平成14年度に開設した2年制の修士課程により構成されています。修士課程(医学専攻)は、医学・生命科学分野の人材育成に対する社会的要請に対処するものであり、4年制大学等の卒業生を対象としており、各学年20名、総計40名が学べ、修了後には博士課程への進学を奨励しています。平成29年度後期より社会人修士課程を開設し、仕事をしながら大学院教育を受けることが可能となりました。博士課程では各学年88名、総計352名が学べます。平成20年4月から、先進的な医療人の育成をもめざして、従来の4専攻を「医学」の1専攻に改め、カリキュラムも大幅に改良しました。講義科目、研究の実践に加え、エイズ、がん、代謝・循環情報医学と発生・再生医学の教育コースを設け、セミナー、医学実験講座や臨床実習を含む多彩な教育により30単位を習得し、国際学術誌に受理された研究論文と総合的かつ論理的な学位論文の完成をもって課程修了としています。さらに文部科学省の支援を受けて、基礎研究医師を養成するために高校・大学・大学院で一貫教育を行う柴田三郎プログラムや、行政・産業界と連携してグローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダー育成を目指す、博士課程教育リーディングプログラムに採択されたHIGOプログラムなど、多彩な人材の育成を実施しています。生命科学研究部、医学部附属病院、発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、エイズ学研究センター、国際先端医学研究機構(IRCMS)及び学外連携研究組織の約90の研究分野や診療部などに所属する教員が、教育を担当します。



医学教育図書棟、医学総合研究棟

## 保健学教育部(博士前期課程、博士後期課程)

保健学教育部保健学専攻は、平成20年4月に看護学分野、医用放射線科学分野、検査技術科学分野の3分野を備えた大学院修士課程として設置され、平成22年4月には新たに博士後期課程の設置に伴い、修士課程は博士前期課程となりました。

博士前期課程では、保健・医療・福祉領域における実践的指導者(高度専門職業人)及び研究者・教育者の養成を目的として、一般学生ならびに医療現場の社会人でも学びやすい教育プログラムを編成しています。募集人員は24名で、修了後は修士(保健学)または修士(看護学)の学位が取得できます。博士後期課程は、医療技術科学系教育コースと看護学系教育コースがあり、博士前期課程で培った実践・研究能力を基盤に、保健・医療・福祉分野における学問体系の確立と技術の開発、医療状況の変革を推進する自立的・学際的・独創的な研究能力を兼備した高度医療専門職業人及び研究者・教育者を養成します。募集人員は6名で、修了後は博士(保健学)または博士(看護学)の学位が取得できます。



保健学教育部

## 大学院

## 薬学教育部(博士前期課程、博士後期課程、博士課程)

薬学部に4年制と6年制の学士課程が併設されたことに合わせ、大学院教育組織である薬学教育部も改組されました。4年制学士課程を基礎とする大学院として創薬・生命薬科学専攻の博士前期課程が平成22年4月に、同専攻の博士後期課程が平成24年4月に設置され、また6年制学士課程を基礎とする大学院として医療薬学専攻の博士課程が平成24年4月に設置されています。創薬・生命薬科学専攻では、創薬マインドに基づいて卓越した研究能力を発揮し、先端的研究や医薬品開発の場で指導能力を発揮できる人材を養成します。医療薬学専攻では、薬学・生命科学の幅広い知識と深い思考力を備え、高い研究志向と問題解決能力を有する高度医療専門職業人・研究者・教育者を養成します。本教育部では、生命科学研究部に加えて発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、医学部附属病院等の教員が教育にあたり、異分野教員の連携に基づいた特色ある教育プログラムを用意しています。



(大江)総合研究棟

平成24年度から、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型(生命健康)「グローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダー」を養成する大学院教育プログラム(HIGOプログラム)を、医学教育部とともに実施し、九州・アジアの社会的ニーズを理解し、地域と世界を結びつけて、諸課題の解決に挑戦できるグローバルな健康生命科学パイオニアとしてのリーダーの養成を行っています。

## 教育学研究科(修士課程、教職大学院の課程)

教育学研究科は、修士課程の大学院研究科として昭和61年4月に設置され、平成21年4月から、学校教育実践専攻(学校教育[教育学・心理学]、特別支援教育、養護教育の各専修)、教科教育実践専攻(言語系教育[国語教育・英語教育]、理数系教育[数学教育・理科教育]、社会系教育[社会科教育]、生活系教育[技術教育・家政教育]、芸術・スポーツ系教育[音楽教育・美術教育・保健体育]の各専修)の2専攻で構成される組織となりました。また、平成29年4月には教職大学院の課程(教職実践開発専攻の1専攻)が新たに設置されました。



大学院授業(技術科:エネルギー変換)の1コマ

本研究科は、教員として必要な資質能力を向上させることを目的として、学部からの進学者だけでなく、現職教員も受け入れ、教育実践に関する総合的な教育と研究を行っています。なお、修士課程を修了した方は修士(教育学)の学位、教職大学院の課程を修了した方は教職修士(専門職)が授与されます。教員専修免許状も取得できます。

## 法曹養成研究科(法科大学院の課程)

法曹養成研究科は、地域特有の法的ニーズに応えると同時に、グローバルな法的諸問題を解決する能力をもつ、21世紀を担う法曹の養成を目的として、平成16年4月に設置されました。大学院教育、司法試験、司法修習というプロセスとしての法曹養成を重視して、授業科目を「法律基本科目群」、「法律実務基礎科目群」、「基礎法学・隣接科目群」、「展開・先端科目群」の4大科目群に分け、段階的・系統的なカリキュラムを編成し、理論と実務を架橋する実践的教育、新しい法的ニーズにも対応する特色ある教育を行っています。



また、臨床法学の教育と研究を専門的に担う臨床部門として、「附属臨床法学教育研究センター」を設置しています。本センターは、法律問題をより身近にかつ実践的に学ぶ場として、全学教育棟F棟4階に設置されています。同センターは、リーガル・クリニックなど学生の臨床教育や教員の実務研修を行っているほか、大学の地域貢献を目的として県内各地で無料法律相談を行っています。

なお、本研究科は平成28年度以降の学生募集を停止しましたが、在学生と法務学修生に対する法曹養成教育には、今後も力を入れていきます。

## 専攻科・別科

### 特別支援教育特別専攻科

特別支援教育特別専攻科は、現職教員や他分野の教員免許状を持つ、本学及び他大学卒業生を対象に、特別支援教育に関する専門的な知識を有する人材の養成を目的としています。

特別支援学校教諭の一種免許状取得コース及び専修免許状取得コースがあります。



### 養護教諭特別別科

養護教諭特別別科は、看護師の免許を取得している者や取得見込みの者を対象に、資質の優れた養護教諭を養成することを目的としています。カリキュラムは教養教育科目・養護専門科目・教職専門科目で構成され、修了時に養護教諭一種免許状が取得できます。



## 研究所

### 発生医学研究所

発生医学研究所は、昭和14年に設置された体質医学研究所を原点にして、昭和59年に遺伝医学研究施設、平成4年に遺伝発生医学研究施設を経て、平成12年に発生学と医学を融合する発生医学の研究教育を推進する目的で、前身の発生医学研究センターが設立されました。平成21年に発生医学研究所に改組拡充し、平成22年に発生医学分野の共同利用・共同研究拠点に認定されました。平成24年に附属臓器再建研究センターを設置して、臨床応用を目指した体制を整備しました。

これまで、文部科学省の21世紀COEプログラム「細胞系譜制御研究教育ユニットの構築」(平成14～18年度)、グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」(平成19～23年度)、さらに、平成24年度から博士課程教育リーディングプログラム「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」において、本研究所はその中核組織としての役割を担っています。

本研究所は、発生学の視点から生命科学領域の国際水準の研究教育を推進することを組織目標とし、発生医学の先端的研究、恒常的視野に立った人材育成、国内外の連携ネットワークを強化した国際研究教育拠点として社会的な役割を果たすことを基本理念としています。



### パルスパワー科学研究所

パルスパワーは瞬間的にはたらくとも大きな作用力です。電気エネルギー、化学エネルギー、力学的エネルギー、光エネルギー等を時間的に圧縮して得られます。例えば電気エネルギーから得られるパルスパワーは、九州、日本、或いは世界の全消費電力に相当するほど巨大です。パルスパワー科学研究所は、安全・安心な社会、環境保全・循環型社会、高度医療・福祉社会の実現を目指し、パルスパワーにかかわる新しい学理の探求とこれを社会に波及させるための応用研究を推進しています。本研究所は、日本の大学で唯一の総合的な「爆発実験施設」、国内で唯一の「バイオエレクトリクス総合研究施設」、世界トップレベルで多様な「パルスパワー基盤設備」、本学で開発された世界初の「超重力発生設備」など、世界最高レベルの施設や設備を有しており、他大学や企業の研究者との共同利用によってパルスパワー科学技術の普及とさまざまな分野への展開に努めています。

本研究所の沿革は、昭和46年設立の工学部附属衝撃エネルギー実験所に始まります。平成11年に極低温装置室を持つ衝撃・極限環境研究センター、平成19年にバイオエレクトリクス研究センターが設立され、二つのセンターと大学院自然科学研究科からの関係研究者を加えて、平成25年4月1日に研究所が設立されました。



## 2 教育研究等

# 機 構

### 大学院先導機構

本学は、優れた研究環境を確保し学術研究を推進することにより、国際社会及び地域社会に貢献しうる存在感ある総合大学の構築を目指しています。そのために、大学院先導機構では、基礎科学と応用科学の有機的連携のもと、生命科学、自然科学、人文社会科学及び学際・複合・新領域の学問領域で最有力のある分野において先導的研究を重点化し、国際競争力のある研究拠点の形成を推進しています。

また、それを通じて、新研究センター、新大学院専攻等を創出し、もって本学の教育研究活動の充実発展及び変革に寄与することを目指しています。

### 熊本創生推進機構

熊本創生推進機構は、産業振興、人材育成、都市部から限界集落まで学修者のニーズに応じた教育機会の提供による地域社会の文化の向上・発展を通じて、アジアをはじめとする諸外国への発信力向上及び多様な豊かさを有する熊本の創生に貢献することを理念とし、平成29年4月1日に設置されました。

イノベーション推進センター、くまもと地方産業創生センター及び政策創造研究教育センターを擁し、熊本の地域課題及びニーズに応じた本学の最適な知的・人的資源（シーズ）を提供するとともに、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC, COC+）を推進しています。

### グローバル推進機構

本学は、平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、我が国の大学改革を牽引する先導的モデルとして、国内外でリーダーシップを発揮するグローバル人材の育成や地域社会のグローバル化に向けた取組を積極的に推進しています。

グローバル推進機構は、本学のグローバル化に向けて全学的に取り組む組織体として、平成27年3月1日に設置されました。

### 大学教育統括管理運営機構

変容する入試制度とそのような中で入学してくる多様な学生に対応し、膨大な教学データの分析を基に大学のビジョンと戦略から共通教育を構築し、全学共通教育における教育の質を統括管理するガバナンスの高い組織として設置された教育の中枢組織です。

### 国際先端医学研究機構

国際先端医学研究機構は、本学の生命科学分野における国際的レベルの研究力強化と国際共同研究を推進させることを目的として平成27年4月に発足した組織です。

本機構では生命科学系の部局と連携し、国際的レベルの先端研究の実施、海外の卓越した研究機関との国際共同研究の推進、国際的に活躍できる若手研究人材の発掘・育成を行い、「海外から見える研究組織」となることを目指します。

これらを達成するために、本機構では博士課程の大学院生を含めた研究者の外国人比率が50%になることを目標として、欧米の一流研究機関と同等の研究環境を整備することにより国際共同研究を円滑に行うことができる環境を作っています。

また、本機構に所属する教員・研究者が使用する国際先端医学研究拠点施設では、英語を公用語として使用するとともにオープンラボシステムを取り入れ、様々な分野の研究者のコミュニケーションが取りやすい環境とすることで、複数研究分野の融合研究の創生を促進しています。さらに、大学全体に、バイオインフォマティクスの研究と教育のためサポートとサーバアクセスを提供します。

### 国際先端科学技術研究機構

本研究機構は、本学の自然科学分野の国際的な研究力の向上を図ることを目的として平成28年4月に設置されました。本研究機構では、本学自然科学分野の研究組織を戦略的に統括し、国際先端研究の実施、国際共同研究の推進、自然科学系研究拠点の育成及び再構築、テニユアトラックを基本とする人事制度のもと先導的若手人材の発掘育成を行います。併せて、世界トップクラスの研究機関とも連携し、世界一線級の特徴的な研究の伸長と新たな領域の先鋭化、更に部局の枠を超えた融合研究を推進します。また「国際共同研究員制度」を新設し、若手人材の強化を図るとともに、研究指導面においても機構内での英語公用語化、オープンラボでの大学院生を含む若手研究者の国際共同研究への参画など、国際通用性の高い研究指導を提供します。

# 学内共同教育研究施設

## 総合情報統括センター

全学の情報通信ネットワークを有機的に結合した情報基盤の中核組織です。ICTに関連した実践的研究を行うと同時に、ICT戦略会議で決定された本学のICT関連施策を実施しています。また、情報教育・研究用の実習室を全学的に配備し、全学共通基礎科目である「情報基礎」等を実施担当しています。

## グローバル教育カレッジ

グローバル教育カレッジは、熊本大学のグローバル化を強力に推進することを目的として、平成27年3月1日に設立されたグローバル推進機構の中核組織です。

英語による教養教育科目を提供する「グローバル人材教育センター」、世界に日本を伝え広める人材を育成する「日本語・日本文化教育センター」、地域にグローバルな学びの場を提供する「オープン教育センター」の3つのセンターで構成されています。

## 五高記念館

五高記念館は旧制第五高等学校の本館及び隣接する化学実験場を活用した大学博物館です。建物は国の重要文化財指定を受けています。本館の内部は旧制第五高等学校に関するさまざまな資料を展示するとともに、講演会や講座、体験学習会、コンサートなども実施しています。平成22年12月には、博物館相当施設の指定を受け、学芸員養成課程の博物館実習の受け入れや、博物館に関するレファレンスサービスも行っており、本学における生涯学習の拠点施設の一つとなっています。

## 永青文庫研究センター

永青文庫研究センターは、平成21年に設置された文学部附属永青文庫研究センターにおける研究・社会貢献事業の成果を踏まえて、事業展開の一層の拡充をはかるため、学内共同教育研究施設として平成29年4月に改組・設置されました。

数ある大名家資料群のうちでも質量ともに最高レベルにある「熊本大学寄託永青文庫資料」をはじめとする熊本藩関係資料を対象とした研究は、本学ならではの特色ある研究・社会貢献のための重点領域です。本センターは、永青文庫資料等の総合的な研究を通じて、当該資料群に立脚した拠点的研究を組織し、かつ文化行政機関等との連携によって研究成果を地域社会に還元するとともに、人文社会科学分野を中心とした研究及び文化振興の発展に寄与する人材の育成を推進しています。

## 教授システム学研究センター

教授システム学研究センターは教授システム学の世界的研究拠点を目指す3つの研究部門と事業部門であるeラーニング推進室から構成されています。本センターは実践的フィールドを学内外に有し、高等教育や職業人教育を対象とした研究を展開していることが特徴です。

日本初の教授システム学研究拠点として「教授システム学、インストラクションなら熊本大学」というイメージを発展的に具現化し、国内外の研究拠点との連携を進め、企業・高等教育機関などの連携研究組織および本学教授システム学専攻修了生などからなる連携研究員との共同研究を通じて、教授システム学を発展させ、社会に貢献します。

## くまもと水循環・減災研究教育センター

くまもと水循環・減災研究教育センターは、学内共同教育研究施設の沿岸域環境科学教育研究センター、大学院自然研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター、および大学院先端科学研究部所属の地下水拠点研究グループを統合するとともに、大学院先端科学研究部および政策創造研究教育センターの関連分野の教員を結集し、平成29年4月1日に設置されました。本センターは、「水循環」と「減災」に関わる学内教員の再配置と学内資源の再配分によって複合学問領域からなる研究教育機能を備え、分野横断型研究の拡充と深化、社会貢献・社会実装を見据えた教育を展開することを目指しています。

熊本の特色や地域課題を踏まえた地下水循環・沿岸環境・減災・復興まちづくりの研究を総合的かつ実践的に推進していくために、本センターには、地下水循環部門、沿岸環境部門、減災型社会システム部門、地域デザイン部門の4部門が配置されています。これらの部門間の連携を図り、全学的組織のスケールメリットを活かして国内外の研究機関、行政機関、民間団体等と連携し、熊本大学の情報収集・発信機能とシンクタンク機能を強化していきます。本センターは、先進的な地下水循環・沿岸環境・減災研究を総合的かつ実践的に推進し、得られた学術的知見を活用して学生及び社会人の人材育成を行うとともに、さらにその成果を、アジア・モンスーン地域を含めた国内外に発信、展開し、この活動を通じて熊本創生に貢献することを目指しています。

## 先進マグネシウム国際研究センター

平成23年12月に設置された先進マグネシウム国際研究センターには、世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されています。合金設計、合金評価、生体機能評価、形質制御、構造化の5つの研究分野からなるモノづくりの川上から川下まで一貫した研究体制によって、KUMADAIマグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究を行っています。また、大学院教育も含めた人材育成、地域貢献も含めた産学官連携、東アジアから世界展開を目指した国際連携も進めており、国際的な中核的研究センターとして、世界の研究をリードしています。

## 2 教育研究等

# 学内共同教育研究施設

## 生命資源研究・支援センター

平成15年度に設置された生命資源研究・支援センターは、熊本大学における研究資源に関する開発研究等を行うとともに、研究資源及び研究資源情報をベースとした関連科学分野の教育研究のさらなる発展を目的として活動しています。

主な業務としては、遺伝子改変動物などの実験動物の作製、開発、保存、供給、データベースの構築・解析、表現型解析、動物実験、遺伝子実験、アイソトープ実験などの研究、情報提供並びに技術指導などがあげられます。

## エイズ学研究センター

エイズ学研究センターは、日本の大学では唯一のエイズ専門のセンターとして平成9年の設立以来、生命科学研究部のエイズ研究分野や、東京の国立国際医療研究センター、国立感染症研究所と連携をとりながら、エイズ撲滅を目指して最先端の研究を行っています。また多数の海外の研究機関とエイズに関する国際共同研究を進めています。特に、HIV感染症での免疫を中心とした研究と新薬の開発に焦点を絞り、新たな治療法や予防法の開発を目指して、エイズとの戦いを続けています。

## 環境安全センター

環境安全センターは平成18年4月1日に、本学の安全管理、環境管理、化学物質管理及び廃棄物管理に係る教育研究支援組織として設置されました。簡単な環境測定が行えるように分析室と分析機器を所有し、学内の作業環境測定業務にも利用されています。

## 埋蔵文化財調査センター

本学が市内に擁する8つのキャンパスは、縄文時代から近代にかけての県下でも有数の遺跡内に立地しています(黒髪町遺跡群、本庄遺跡、大江遺跡群など)。このため、キャンパス内の施設整備(建物の建築・改修、ライフラインの整備等)で地下を掘削する際、遺跡の破壊が避けられない場合には、遺跡の保存のため、発掘調査を行っています。

平成6年に埋蔵文化財調査室として発足し、出土した埋蔵文化財(遺物・遺構)を保存・活用することにより、本学の教育に貢献する目的で、平成23年10月に学内共同教育研究施設として本センターに改組しました。年報・発掘調査報告書を作成し、調査成果を考古学研究的基礎資料として情報公開するとともに、展示や各種行事を通じて、学内外への普及啓発に努めています。

## 保健センター

黒髪北キャンパスの赤門と附属図書館の間に位置する、学生と職員の福利厚生のための施設です。医師3名、看護師3名、臨床心理士1名が常勤し、プライバシーには十分配慮した上で、学生と教職員の健康問題および各種相談に無料で応じています。また、薬学部と医学部のキャンパスでも、看護師による健康相談室や臨床心理士による「こころと身体の悩みなんでも相談」を開設しています。

## 障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障害者差別解消法の施行(平成28年4月)にあたり平成27年11月1日に設置されました。障がい学生の修学支援体制を強化し円滑な修学に寄与するため、障がい有する学生からの相談受付や必要とされる配慮・支援の提供を行っています。医師1名、臨床心理士1名、キャンパスソーシャルワーカー1名、事務職員1名、合計4名のスタッフで支援を行っています。

## 文書館

文書館は、本学の歴史に関する資料の収集、管理及び公開並びに法人文書の適切な管理を目的として、平成28年4月1日に設置されました。主な業務としては、60年史編纂に当たって収集した資料の目録作成、法人文書の管理及び熊本大学史(近代高等教育史)の研究などがあげられます。

# 学外オフィス

## 熊本大学東京オフィス

開設	平成16年4月
業務内容	①本学の教育研究活動の情報発信 ②入試情報の発信及び学生の就職活動支援 ③同窓会組織との連携活動 ④各種セミナー及び会議等の開催 ⑤産学連携の支援
郵便番号	〒108-0023
住所	東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター4階407号室
TEL・FAX	03-5440-9093
E-mail	kuma-u.tokyo@cictokyo.jp
開館時間	平日10:00～17:00
休館日	土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、東京工業大学が定める休館日



## 熊本大学関西オフィス

開設	平成23年12月
業務内容	①本学の教育研究活動の情報発信 ②入試情報の発信及び学生の就職活動支援 ③同窓会組織との連携活動 ④各種セミナー及び会議等の開催 ⑤産学連携の支援
郵便番号	〒530-0001
住所	大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル6階608-2号室
TEL・FAX	06-4256-8153
E-mail	kansai-office@jimu.kumamoto-u.ac.jp
開館時間	平日10:00～17:00
休館日	土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



## 熊本大学関西リエゾンオフィス

開設	平成21年10月
業務内容	①企業訪問等による産学連携促進及び技術移転活動 ②技術相談及び共同研究打合せ ③研究シーズ等の常設展示及び広報活動 ④熊本大学案内、入試情報等の周知及び就職支援等 ⑤同窓会組織等との連携活動 ⑥各種セミナー及び会議等の開催
郵便番号	〒577-0011
住所	大阪府東大阪市荒本北1-4-1 クリエイション・コア東大阪南館 2203室
E-mail	kansai@kumamoto-u.ac.jp



## 熊本大学韓国KAISTオフィス

開設	平成20年9月
業務内容	①学術協力の推進 ②両校合同研究シンポジウム開催支援 ③大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
郵便番号	〒305-701
住所	291 Daehak-ro(373-1 Guseong-dong), Yuseong-gu,Daejeon,Korea (韓国科学技術院(KAIST) Biomedical Research Center内)



## 熊本大学(駐山東大学)国際産学連携サテライトオフィス

開設	平成22年3月
業務内容	①産学連携活動の促進 ②学術交流の推進 ③大学情報の発信 ④中国における本学の活動拠点
郵便番号	〒250100
住所	中華人民共和国 済南市山大南路27号 山東大学(国際事務部)内
E-mail	ipo@sdu.edu.cn



## 2 教育研究等

# 学外オフィス

### 熊本大学インドネシアITSオフィス

- 開設** 平成22年4月
- 業務内容**
- ①交流協定校等との学生交流・学術交流の促進
  - ②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援
  - ③産学官国際連携活動の促進
  - ④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
  - ⑤同窓会の支援拠点

**郵便番号** 〒60111

**住所** Gedung Pasca Sarjana Lantai 1 Kampus ITS Nopember Sukolilo-Surabaya Jawa Timur, Indonesia

**T E L** +62-31-596-6985 (英語対応のみ)

**F A X** +62-31-596-6986 (英語対応のみ)

**E-mail** mia.hernawati.sby@gmail.com (英語対応のみ)



### 熊本大学大連オフィス

- 開設** 平成23年3月
- 業務内容**
- ①大連理工大学及び中国北部の交流協定校等の学生及び教職員への日本及び熊本大学に関する情報の発信
  - ②中国北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成
  - ③中国北部の他の交流協定校等との関係強化の取り組み
  - ④その他中国北部での熊本大学の活動

**郵便番号** 〒116024

**住所** 中華人民共和国 大連市甘井子区凌工路2号

**T E L** +86-411-8470-6251

**E-mail** qiaosen@dlut.edu.cn



### 熊本大学スーダンオフィス

- 開設** 平成28年6月
- 業務内容**
- ①アフリカにおける研究教育交流の拠点
  - ②アフリカの交流協定校等の学生及び教職員への日本及び熊本大学に関する情報の発信
  - ③アフリカの卒業生及び関係者のネットワーク形成
  - ④アフリカにおける本学の活動拠点
- 住所** Faculty of Pharmacy, University of Khartoum. P.O. Box: 1996, Al-Qasr street, Khartoum 11111, Sudan



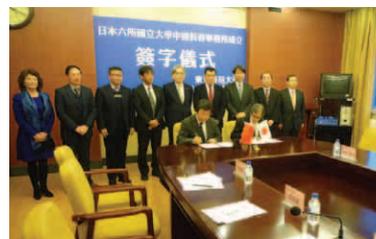
### 国立六大学長春事務所

- 開設** 平成26年11月
- 国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設
- 業務内容**
- ①中国東北部の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
  - ②中国東北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成
  - ③中国東北部の交流協定校等との関係強化の取り組み
  - ④その他中国東北部での国立六大学の活動

**郵便番号** 〒130117

**住所** 中華人民共和国 長春市東北師範大学浄月校区

**T E L** +86-431-8451-6278



### 国立六大学欧州事務所

- 開設** 平成28年8月
- 国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設
- 業務内容**
- ①日蘭の学術的・文化的結びつきに関する情報の発信
  - ②オランダ及びEU圏の大学間ネットワークや国際共同教育プラットフォームとの連携推進
  - ③現地大学等に関する情報収集
  - ④現地大学等の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
  - ⑤国立六大学共同プログラムの実施・運営
- 住所** SieboldHuis 5<sup>th</sup> floor, Rapenburg 19, 2311 GE Leiden, The Netherlands



## 寄附講座

奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。

(H29.4.1現在)

部局名	寄附講座名称	設置期間	寄附者
大学院生命科学研究部	免疫・アレルギー・血管病態学寄附講座	平成23年4月1日～平成33年3月31日	医療法人 博麗会 のぐち皮ふ科 医療法人 信岡会 菊池病院 医療法人 春水会 山鹿中央病院 医療法人 岡山会 九州記念病院 医療法人 愛生会 外山病院 医療法人社団 仁誠会 医療法人 中下会 内科熊本クリニック 医療法人社団 東陽会 東病院 医療法人社団 藤栄会 すえふじ医院 医療法人秋葉会メディカルスクエア九品寺クリニック いしはら皮膚外科クリニック 正見テック株式会社 医療法人阿蘇久仁会 寺崎内科胃腸科クリニック たぶち内科循環器科 医療法人天野会 天野整形外科あまの皮ふ科 医療法人杏和会 城南病院 まるお皮ふ科
大学院生命科学研究部	糖尿病予病態解析学寄附講座	平成22年4月1日～平成30年3月31日	MSD株式会社
大学院生命科学研究部	画像診断解析学寄附講座	平成15年10月1日～平成31年3月31日	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
大学院生命科学研究部	アジア神経難病研究・診療講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	ニュー・チャイナ・フォーチュン・ギャザリング投資株式会社
医学部附属病院	循環器予防医学先端医療寄附講座	平成22年4月1日～平成29年3月31日	医療法人社団 陣内会 陣内病院
医学部附属病院	新生児学寄附講座	平成21年1月1日～平成30年12月31日	医療法人社団 愛育会 福田病院
医学部附属病院	機能神経外科先端医療寄附講座	平成20年7月1日～平成30年3月31日	医療法人社団 北斗会 北斗病院
医学部附属病院	心血管治療先端医療寄附講座	平成20年4月1日～平成30年3月31日	アイティーアイ株式会社 株式会社フィデスワン ジーエムメディカル株式会社 社団法人 菊池郡市医師会 日本ライフライン株式会社 アポット バスキュラー ジャパン株式会社 医療法人社団 寿量会 熊本機能病院 株式会社テルモ 株式会社カネカメディックス セント・ジュード・メディカル株式会社 ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 日本メトロニックス株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 マツケ・ジャパン株式会社
医学部附属病院	不整脈先端医療寄附講座	平成19年4月1日～平成34年3月31日	ポストン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社 フクダ電子株式会社 セント・ジュード・メディカル株式会社 日本ライフライン株式会社 日本メトロニックス株式会社 株式会社フィデスワン 医療法人 田中会 武蔵ヶ丘病院 医療法人社団 鶴友会 医療法人社団 仁誠会 株式会社メディカル・アプライアンス バイオトロニックスジャパン株式会社 株式会社グッドマン
医学部附属病院	消化器癌集学的治療学寄附講座	平成23年10月1日～平成29年9月30日	株式会社ヤクルト本社 中外製薬株式会社
医学部附属病院	乳癌分子標的治療学寄附講座	平成24年4月1日～平成30年3月31日	中外製薬株式会社 医療法人社団 仁風会 比企病院 医療法人東陽会 東病院 阿蘇医療センター 医療法人社団 世安会 くまもと乳癌・胃腸外科病院 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター 山鹿市民医療センター
医学部附属病院	分子神経治療学寄附講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	一般財団法人 化学及血清療法研究所
医学部附属病院	関節再建先端治療学寄附講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	医療法人 社団藤浪会 整形外科井上病院・井上整形外科クリニック 社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 熊本リハビリテーション病院
医学部附属病院	脳血管障害先端医療寄附講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	医療法人財団 聖十字会
医学部附属病院	専門医療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	熊本県
医学部附属病院	地域医療・総合診療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	熊本県 公立玉名中央病院企業団

## 共同研究講座・共同研究部門

民間機関等からの共同研究経費を有効に活用して、本学の自主性及び主体性の下に設置運営し、本学の教育研究の進展及び充実をはかります。

(H29.4.1現在)

部局名	共同研究講座名称	設置期間	共同研究相手先
大学院生命科学研究部	画像動態応用医学共同研究講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	東芝メディカルシステムズ株式会社
大学院生命科学研究部	心不全先進医療共同研究講座	平成28年4月1日～平成30年3月31日	帝人在宅医療株式会社
薬学部	えがお - 熊本大学薬学部機能性食品共同研究講座	平成27年7月1日～平成29年6月30日	株式会社えがお
薬学部	アグロメティン開発研究講座	平成28年7月1日～平成31年6月30日	河合興産株式会社
薬学部	再春館・自然×サイエンス共同研究講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	株式会社再春館製薬所
先進マテリアル国際研究センター	住友電工マグネシウム合金共同研究部門	平成27年10月1日～平成30年9月30日	住友電気工業株式会社

## 2 教育研究等

# 医学部附属病院

附属病院は、診療科、薬剤部、看護部及び中央診療施設等を有し、病床数848床（一般病床798床、精神病床50床）で、1日平均の外来患者数は1,300人を超えています。

現在、21世紀の医学、医療を担うに足る附属病院の完成を目指して本院の再開発計画を進めており、平成26年9月に外来診療棟が開院するなど、先進医療と全人的・包括的医療を兼ね備えた総合診療体制の確立を推進しています。その一環として、平成16年1月から診療内容も臓器別・系統別診療体制へ移行したほか、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院等の指定も受けており、県内唯一の特定機能病院として、熊本県の地域医療水準の向上にも取り組んでおります。

### 理念

本院は、患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

### 基本方針

- 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- 安全安心で質の高い医療サービスの提供
- 優れた医療人の育成
- 先進医療の開発と推進

## 診療部

### ● 内科部門

<診療科名>  
 呼吸器内科／消化器内科／血液内科  
 膠原病内科／腎臓内科  
 糖尿病・代謝・内分泌内科  
 循環器内科／神経内科

### ● 外科部門

<診療科名>  
 心臓血管外科／呼吸器外科  
 消化器外科／乳腺・内分泌外科  
 小児外科／移植外科／泌尿器科  
 婦人科

### ● 成育医療部門

<診療科名>  
 小児科／産科

### ● 感覚・運動部門

<診療科名>  
 整形外科／皮膚科／形成・再建科  
 眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
 歯科口腔外科

### ● 放射線診療部門

<診療科名>  
 画像診断・治療科／放射線治療科

### ● 脳・神経・精神部門

<診療科名>  
 神経精神科／脳神経外科／麻酔科

## 中央診療施設等

中央検査部  
 中央手術部  
 中央放射線部  
 集中治療部  
 中央材料部  
 リハビリテーション部

病理部  
 輸血・細胞治療部  
 救急・総合診療部  
 感染免疫診療部  
 血液浄化療法部  
 総合臨床研修センター

光学医療診療部  
 高度医療開発センター  
 地域医療連携センター  
 総合周産期母子医療センター  
 がんセンター  
 ME機器センター

地域医療支援センター  
 移植医療センター

総合臨床  
研究部

医療情報  
経営企画部

薬剤部

看護部

医療  
技術部

栄養  
管理部

医療の質・  
安全管理部

感染  
制御部

事務部



外来診療棟



各診療科等の実習に対応できる臨床シミュレーションシステム



手術支援ロボット

## 附属図書館

附属図書館は、中央館・医学系分館・薬学部分館で構成され、熊本大学の教育研究活動を支える学術情報基盤の1つとして活動しています。ネットワークを通じてサービス(電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等)を提供しており、いつでも利用できる図書館となっています。また、一般市民への貸出、熊本大学学術リポジトリによる研究成果のインターネット公開、30年以上の実績をもつ貴重資料展などを実施しており、地域社会に対する学術情報提供の拠点として機能しています。

### 蔵書類

(H29.3.31現在)

		単位	中央館	医学系分館	薬学部分館	合計
図書	和書(蔵書数)	冊	690,941	66,329	15,885	773,155
	洋書(蔵書数)		351,124	108,764	23,427	483,315
	合計		1,042,065	175,093	39,312	1,256,470
雑誌	和書	種類	10,863	2,562	586	14,011
	洋書		4,026	2,725	443	7,194
	合計		14,889	5,287	1,029	21,205
リポジトリ登録件数	件	-	-	-	13,619	

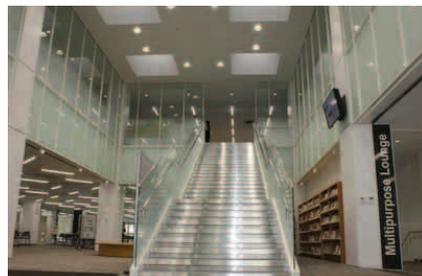


▲(中央館)外観

### 利用状況

(H28年度)

		単位	中央館	医学系分館	薬学部分館	合計
入館者数	人		387,675	97,728	34,894	520,297
貸出冊数	冊		61,960	6,244	453	68,657
文献複写数 (相互利用)受付 依頼	件		500	888	48	1,436
	件		1,715	767	96	2,578
リポジトリダウンロード件数	件		-	-	-	464,618
座席数	席		652	226	58	936



▲(中央館)館内

### 貴重資料

文庫名	内容
阿蘇家文書	阿蘇家旧蔵の中世以降の古文書類(国指定重要文化財)
細川家北岡文庫	永青文庫・肥後藩政資料(国指定重要文化財を含む)〈寄託資料〉
時習館文庫	旧藩校時習館の典籍類
松井文庫	旧松井男爵家旧蔵の古文書典籍類
菅野文庫	菅野是政氏旧蔵の幕末期の蘭書
落合文庫	落合東郭氏旧蔵の漢籍類
柚原文庫	柚原益樹氏旧蔵の支那哲学関係漢籍類
ポーター文庫	ウィリアム・ポーター氏五高在職当時の所蔵書
八雲文庫	小泉八雲に関する作品・伝記・評論の集積
仲光家文庫	旧熊本藩士、仲光家に伝わった古文書・典籍類
横井小楠文書	横井小楠に関する古文書・古記録類〈寄託資料〉



▲八雲文庫「ちりめん本」



▲永青文庫寄託「源氏物語」

### 全国共同利用大型資料(人文・社会科学系)

資料名	内容
英国議会資料	IPU BLUE BOOKS.1,000Vols. 19世紀英国議会報告書の中から、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめたもの
SYNTHESE LIBRARY	認識論・論理学・社会哲学とその関連領域の最新史料135巻
民国二十年大陸土地問題資料	1932年に国民政府によって中央政治学校内に設置された地政学院の研究生が2年にわたって行った実地調査の報告書(全200冊)
シェイクスピア研究書コレクション	英国の文学批評家であるフランク・カーモード教授旧蔵のシェイクスピア研究書コレクション805点
少数民族と移出入民：地球規模の現象と課題	世界の少数民族に関する民族誌、少数民族問題の社会学的研究、地球レベルでの移民と移動に関する研究及び書誌1セット(462冊148リール)
米田家文書	熊本藩第二家老米田家の近世初期・中期及び幕末期の文書群126点、書類約400綴(要事前申請)

### 3 職員・学生数等

## 役員等数・職員数

### 役員等数

学 長	理 事	監 事	副学長 (教員が兼務)
1	6	2	2

### 職員数

(H29.5.1現在)

区 分	教 員																		事務・技術 職員等			計					
	教 授			准教授			講 師			助 教			助 手			教諭等			教員合計								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
教 育 学 部	37	13	50	34	10	44	2	1	3							50	32	82	123	56	179	3		3	126	56	182
理 学 部																0	0					3		3	3	0	3
薬 学 部	3		3	1	1	2				1	1	1	1						6	1	7	3	2	5	9	3	12
工 学 部																0	0		41	4	45	41	4	45	41	4	45
大学院教育学研究科				2	2											2	0	2							2	0	2
大学院人文社会科学研究部	47	9	56	42	16	58	3	4	7				1	1					92	30	122				92	30	122
大学院先端科学研究部	76	2	78	72	10	82	2	2	27	7	34					177	19	196							177	19	196
大学院生命科学研究所	64	8	72	36	9	45	15	3	18	76	29	105				191	49	240	5	4	9	196	53	249			
発 生 医 学 研 究 所	8		8	4	4	1	1	1	6	3	9				19	3	22	7	2	9	26	5	31				
パルスパワー科学研究所	7		7	4	1	5			2	2					13	1	14	1		1	14	1	15				
総合情報統括センター	4		4	1	1				1	1				6	0	6	3		3	9	0	9					
グローバル教育カレッジ		1	1	1	1	1	2	3							2	3	5							2	3	5	
五 高 記 念 館				1	1										1	0	1							1	0	1	
永青文庫研究センター	1		1	1	1										2	0	2							2	0	2	
教授システム学研究センター	3		3	3	1	4									6	1	7							6	1	7	
くまもと水循環・減災研究教育センター	4		4	6	6				1	1				11	0	11	1		1	12	0	12					
先進マグネシウム国際研究センター	2		2	1	1				1	1				4	0	4							4	0	4		
生命資源研究・支援センター	2	1	3	2	2	2	2	4	1	5				10	2	12	3	4	7	13	6	19					
エイズ学研究センター	4		4	2	2				1	1	2				7	1	8							7	1	8	
環 境 安 全 セ ン タ ー				1	1										1	0	1							1	0	1	
埋蔵文化財調査センター									1	1	2				1	1	2							1	1	2	
大学院先導機構				8	8				5	5				13	0	13							13	0	13		
熊本創生推進機構	2		2	4	4										6	0	6							6	0	6	
大学教育統括管理運営機構	1		1	1	1	2									2	1	3							2	1	3	
保 健 セ ン タ ー	1		1	1	1				1	1				2	1	3		3	3	3	2	4	6				
医学部附属病院	4		4	6	1	7	33	33	51	14	65				94	15	109	172	941	1,113	266	956	1,222				
事 務 部 門															0	0		263	158	421	263	158	421				
合 計	270	34	304	234	50	284	59	10	69	177	57	234	1	1	2	50	32	82	791	184	975	505	1,118	1,623	1,296	1,302	2,598

※育児休業者等を含む ※再雇用職員及び個別契約職員を除く

# 学生・生徒・児童及び幼児数

## 学部

(H29.5.1現在)

学 科 ・ 課 程	入学 定員	総定員	現 員																				
			1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
<b>文学部</b>	170	700	60	131	191	48	133	181	57	129	186	66	151	217							231	544	775
総合人間学科	55	220	19	40	59	17	45	62	20	37	57	16	51	67							72	173	245
歴史学科	35	140	21	20	41	20	15	35	20	22	42	19	23	42							80	80	160
文学科	50	200	14	39	53	8	44	52	12	41	53	21	45	66							55	169	224
コミュニケーション情報学科 (学部共通)	30	120	4	24	28	3	29	32	5	29	34	10	32	42							22	114	136
※グローバルリーダーコース	(10)	(10)	2	8	10																2	8	10
<b>教育学部</b>	230	1,100	100	152	252	149	174	323	139	172	311	153	178	331							541	676	1,217
小学校教員養成課程	110	440	51	65	116	67	55	122	59	55	114	62	58	120							239	233	472
中学校教員養成課程	70	280	42	38	80	45	39	84	43	36	79	52	34	86							182	147	329
特別支援教育教員養成課程	20	80	6	17	23	4	16	20	5	18	23	4	17	21							19	68	87
養護教諭養成課程	30	120	1	32	33	0	32	32	0	32	32	1	33	34							2	129	131
地域共生社会課程		60	0	0	0	9	13	22	8	14	22	11	17	28							28	44	72
生涯スポーツ福祉課程		120	0	0	0	24	19	43	24	17	41	23	19	42							71	55	126
<b>法学部</b>	210	860	104	110	214	135	101	236	115	106	221	125	104	229							479	421	900
法学科	210	840	100	104	204	135	101	236	115	106	221	125	104	229							475	415	890
(学部共通)		20																					
※グローバルリーダーコース	(10)	(10)	4	6	10																4	6	10
<b>理学部</b>	200	770	148	55	203	158	54	212	151	48	199	145	47	192							602	204	806
理学科	200	770	145	50	195	158	54	212	151	48	199	145	47	192							599	199	798
※グローバルリーダーコース	(10)	(10)	3	5	8																3	5	8
<b>医学部</b>	259	1,298	117	153	270	111	171	282	121	162	283	119	143	262	86	32	118	84	33	117	638	694	1,332
医学科	115	690	83	40	123	79	39	118	88	34	122	85	38	123	86	32	118	84	33	117	505	216	721
保健学科 (保健学科共通)	144	576	34	113	147	32	132	164	33	128	161	34	105	139							133	478	611
32																							
<b>薬学部</b>	90	470	49	49	98	56	41	97	57	42	99	48	49	97	24	30	54	27	33	60	261	244	505
薬学科	55	330	24	32	56	31	28	59	29	34	63	23	35	58	24	30	54	27	33	60	158	192	350
創薬・生命薬科学科	35	140	25	17	42	25	13	38	28	8	36	25	14	39							103	52	155
<b>工学部</b>	513	2,142	427	108	535	435	95	530	487	91	578	638	106	744							1,987	400	2,387
物質生命化学科	80	320	44	36	80	58	23	81	51	37	88	69	30	99							222	126	348
マテリアル工学科	46	184	35	9	44	44	5	49	45	7	52	58	5	63							182	26	208
機械システム工学科	97	388	87	9	96	84	14	98	103	9	112	144	13	157							418	45	463
社会環境工学科	71	284	60	13	73	59	14	73	65	12	77	74	17	91							258	56	314
建築学科	56	224	37	20	57	36	23	59	46	15	61	70	24	94							189	82	271
情報電気電子工学科	153	612	141	11	152	145	15	160	166	10	176	207	16	223							659	52	711
数理工学科 (学部共通)	10	40	11	2	13	9	1	10	11	1	12	16	1	17							47	5	52
90																							
※グローバルリーダーコース	(20)	(20)	12	8	20																12	8	20
<b>合 計</b>	1,672	7,340	1,005	758	1,763	1,092	769	1,861	1,127	750	1,877	1,294	778	2,072	110	62	172	111	66	177	4,739	3,183	7,922

外国人留学生を含む。  
 ※「グローバルリーダーコース」欄の入学定員及び総定員の( )内は、各学科の入学定員及び総定員の内数。  
 ※教育学部の地域共生社会課程及び生涯スポーツ福祉課程は平成29年度から学生募集停止。

### 3 職員・学生数等

## 学生・生徒・児童及び幼児数

#### 大学院(修士課程・博士前期課程)

(H29.5.1現在)

研究科・専攻	入学定員	総定員	現 員								
			1年次			2年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
<b>教育学研究科(修士)</b>	30	77	15	18	33	26	23	49	41	41	82
学校教育実践専攻	7	20	4	6	10	6	6	12	10	12	22
教科教育実践専攻	23	57	11	12	23	20	17	37	31	29	60
<b>社会文化科学研究科(博士前期)</b>	76	146	29	37	66	34	64	98	63	101	164
公共政策学専攻	13	23	5	1	6	6	3	9	11	4	15
法学専攻	12	21	7	3	10	2	3	5	9	6	15
現代社会人間学専攻	18	36	4	12	16	9	19	28	13	31	44
文化学専攻	18	36	6	13	19	2	16	18	8	29	37
教授システム学専攻	15	30	7	8	15	15	23	38	22	31	53
<b>自然科学研究科(博士前期)</b>	392	784	368	64	432	410	63	473	778	127	905
理学専攻	85	170	54	21	75	67	21	88	121	42	163
数学専攻	15	30	12	4	16	10	0	10	22	4	26
複合新領域科学専攻	12	24	7	1	8	11	1	12	18	2	20
物質生命化学専攻	43	86	36	14	50	41	18	59	77	32	109
マテリアル工学専攻	25	50	27	2	29	31	1	32	58	3	61
機械システム工学専攻	57	114	64	2	66	61	2	63	125	4	129
情報電気電子工学専攻	81	162	108	6	114	119	6	125	227	12	239
社会環境工学専攻	38	76	32	2	34	40	7	47	72	9	81
建築学専攻	36	72	28	12	40	30	7	37	58	19	77
<b>医学教育部(修士)</b>	20	40	5	7	12	7	6	13	12	13	25
医科学専攻	20	40	5	7	12	7	6	13	12	13	25
<b>保健学教育部(博士前期)</b>	24	40	11	12	23	9	20	29	20	32	52
保健学専攻	24	40	11	12	23	9	20	29	20	32	52
<b>薬学教育部(博士前期)</b>	35	70	20	12	32	25	12	37	45	24	69
創薬・生命薬科学専攻	35	70	20	12	32	25	12	37	45	24	69
<b>合 計</b>	<b>577</b>	<b>1,157</b>	<b>448</b>	<b>150</b>	<b>598</b>	<b>511</b>	<b>188</b>	<b>699</b>	<b>959</b>	<b>338</b>	<b>1,297</b>

外国人留学生を含む。

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティ・ミュージアム

沿革略図

沿革略年表

# 学生・生徒・児童及び幼児数

## 大学院(博士課程・博士後期課程) (H29.5.1現在)

研究科・専攻	入学定員	総定員	現 員														
			1年次			2年次			3年次			4年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
社会文化科学研究科(博士後期)	15	45	4	7	11	5	6	11	32	22	54				41	35	76
人間・社会科学専攻	6	18	1	1	2	1	1	2	15	10	25				17	12	29
文化学専攻	6	18	3	3	6	2	2	4	5	6	11				10	11	21
教授システム学専攻	3	9	0	3	3	2	3	5	12	6	18				14	12	26
自然科学研究科(博士後期)	62	186	37	9	46	38	12	50	83	22	105				158	43	201
理学専攻	10	30	9	3	12	6	3	9	21	3	24				36	9	45
複合新領域科学専攻	18	54	4	0	4	2	0	2	9	2	11				15	2	17
産業創造工学専攻	14	42	11	2	13	8	4	12	19	4	23				38	10	48
情報電気電子工学専攻	10	30	7	2	9	8	2	10	19	8	27				34	12	46
環境共生工学専攻	10	30	6	2	8	14	3	17	15	5	20				35	10	45
医学教育部(博士)	88	352	59	23	82	55	17	72	57	24	81	71	40	111	242	104	346
医学専攻	88	352	59	23	82	55	17	72	57	24	81	71	40	111	242	104	346
保健学教育部(博士後期)	6	18	4	3	7	4	4	8	15	13	28				23	20	43
保健学専攻	6	18	4	3	7	4	4	8	15	13	28				23	20	43
薬学教育部(博士)	8	32	5	3	8	10	1	11	7	2	9	4	3	7	26	9	35
医療薬学専攻	8	32	5	3	8	10	1	11	7	2	9	4	3	7	26	9	35
薬学教育部(博士後期)	10	30	5	8	13	7	8	15	8	3	11				20	19	39
創薬・生命薬科学専攻	10	30	5	8	13	7	8	15	8	3	11				20	19	39
合 計	189	663	114	53	167	119	48	167	202	86	288	75	43	118	510	230	740

外国人留学生を含む。

## 教育学研究科(教職大学院の課程) (H29.5.1現在)

名 称	入学定員	総定員	現 員								
			1年次			2年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育実践開発専攻	15	15	7	6	13				7	6	13

## 法曹養成研究科(法科大学院の課程) (H29.5.1現在)

名 称	総定員	現 員											
		1年次			2年次			3年次			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
法曹養成専攻	12	0	0	0	3	0	3	6	4	10	9	4	13

※平成28年度から学生募集停止

## 専攻科(修業年限1年) (H29.5.1現在)

名 称	入学定員	現 員		
		男	女	計
特別支援教育特別専攻科	20	8	10	18

## 別科(修業年限1年) (H29.5.1現在)

名 称	入学定員	現 員		
		男	女	計
養護教諭特別別科	40	1	41	42

## 教育学部附属学校 (H29.5.1現在)

区 分	入学(園)定員	総定員	学級数	現 員																					
				1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計			
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
小学校	105	630	18	54	54	108	54	54	108	54	53	107	53	54	107	53	54	107	53	53	106	321	322	643	
中学校	160	480	12	80	80	160	80	79	159	79	78	157										239	237	476	
特別支援学校	小学部	※ <sup>1</sup> 6	18	複式3	2	1	3	2	0	2	2	1	3	3	0	3	2	1	3	1	2	3	12	5	17
	中学部	※ <sup>1</sup> 6	18	3	3	3	6	4	2	6	4	2	6										11	7	18
	高等部	※ <sup>1</sup> 8	24	3	6	2	8	6	3	9	7	2	9										19	7	26
幼稚園	3年保育	※ <sup>2</sup> 30	145	5	3歳児			4歳児			5歳児												71	68	139
	2年保育	※ <sup>2</sup> 25			15	15	30	28	23	51	28	30	58												

※<sup>1</sup> 特別支援学校については標準学級定員 ※<sup>2</sup> 平成28年度までの入園定員は3年保育20、2年保育50

### 3 職員・学生数等

## 入学状況

### 学部

(平成29年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者			外国人留学生 (内数)						
		男	女	計	男	女	計	入学志願者			入 学 者			
								男	女	計	男	女	計	
文 学 部	170	279	430	709	55	124	179	5	2	7	1	2	3	
教 育 学 部	230	287	409	696	99	151	250	1	0	1	0	0	0	
法 学 部	210	414	315	729	104	110	214	1	1	2	0	0	0	
理 学 部	200	477	230	707	148	55	203	4	1	5	0	0	0	
医学部	医 学 科	115	365	234	599	76	40	116	1	0	1	0	0	0
	保 健 学 科	144	147	409	556	34	113	147	0	0	0	0	0	0
薬 学 部	90	201	215	416	44	48	92	1	2	3	0	0	0	
工 学 部	513	943	257	1,200	424	108	532	11	4	15	1	1	2	
合 計	1,672	3,113	2,499	5,612	984	749	1,733	24	10	34	2	3	5	

マレーシア政府派遣留学生4名(外数)

### 大学院

(平成29年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者			社会人入試 (内数)						外国人留学生 (内数)						
		男	女	計	男	女	計	入学志願者			入 学 者			入学志願者			入 学 者			
								男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
教育学研究科	修 士	30	16	20	36	15	18	33	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	2
	教職大学院	15	7	7	14	7	6	13	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
社会文化科学研究科	前 期	76	38	43	81	29	37	66	16	17	33	12	17	29	6	16	22	5	11	16
	後 期	15	8	9	17	4	7	11	4	3	7	3	3	6	4	1	5	3	1	4
自然科学研究科	前 期	392	436	74	510	354	57	411	1	0	1	1	0	1	8	9	17	5	6	11
	後 期	62	27	5	32	26	5	31	4	1	5	4	1	5	5	1	6	5	1	6
医学教育部	修 士	20	7	7	14	4	6	10	-	-	-	-	-	-	2	2	4	1	0	1
	博 士	88	54	24	78	52	21	73	30	6	36	30	4	34	4	6	10	2	2	4
保健学教育部	前 期	24	14	12	26	11	12	23	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
	後 期	6	5	4	9	4	3	7	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
薬学教育部	前 期	35	22	11	33	20	11	31	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
	後 期	10	4	6	10	4	6	10	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
博 士	8	5	2	7	5	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	781	643	224	867	535	191	726	55	28	83	50	26	76	32	36	68	24	22	46	

### 専攻科

(平成29年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者		
		男	女	計	男	女	計
特別支援教育 特別専攻科	20	9	11	20	8	10	18
		(5)	(4)	(9)	(5)	(4)	(9)

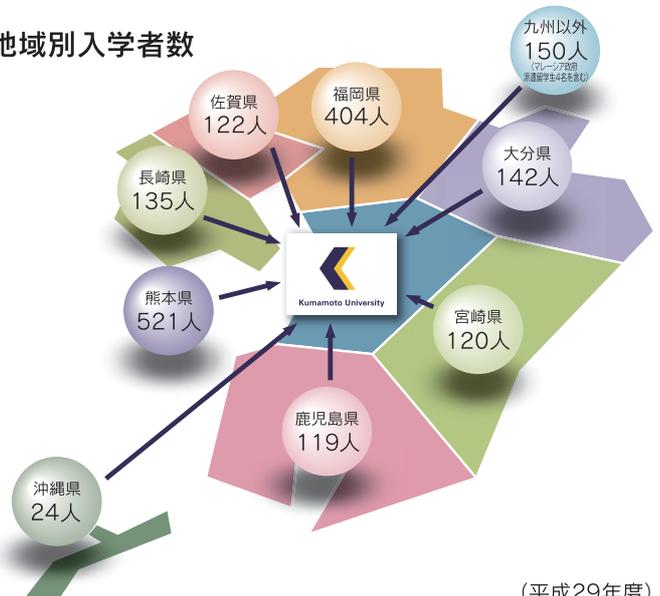
( )内は現職教員で内数。

### 別科

(平成29年度)

区 分	入学定員	入学志願者			入 学 者		
		男	女	計	男	女	計
養 護 教 諭 特 別 別 科	40	1	65	66	1	41	42

### 地域別入学者数



(平成29年度)

# 卒業後の状況

(H29.5.1現在)

区 分	学 部																								
	文学部			教育学部			法学部			理学部			医学部			薬学部			工学部			計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
卒 業 者 数	45	133	178	121	182	303	112	92	204	131	56	187	119	138	257	48	39	87	447	80	527	1,023	720	1,743	
進 学 者 数	6	7	13	19	22	41	10	1	11	72	27	99	11	12	23	22	14	36	292	25	317	432	108	540	
就 職 者 数	26	102	128	91	131	222	81	73	154	41	29	70	16	87	103	23	22	45	133	51	184	411	495	906	
農・林・漁業・鉱業																									
建設業	1	3	4	1	2	3	1	2	3	1	1	2							18	11	29	22	19	41	
食料品・飲料・たばこ・飼料	1		1	1	2	3				2	1	3								2	2	4	5	9	
繊維工業																									
印刷・同関連業		2	2		1	1													1		1	1	3	4	
化学工業・医薬品・石油・石炭製品	1	3	4				2		2	1	3	4		1	1	1	2	3	1	1	2	6	10	16	
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品							1	1	2	1		1							12		12	14	1	15	
はん用・生産用・業務用機械器具	3	3	6	1		1		2	2										7	4	11	11	9	20	
電子部品・デバイス・電子回路		1	1				1		1	1		1							6	1	7	8	2	10	
電気・情報通信機械器具	1	2	3				1		1	1		1							4	2	6	7	4	11	
輸送用機械器具	1	1	2					1	1	1		1							12	6	18	14	8	22	
その他		1	1				1		1	1		1							4		4	6	1	7	
電気・ガス・熱供給・水道業		1	1				1		1										2	2	4	3	3	6	
情報通信業	2	11	13	1	3	4	3	5	8	2	1	3							14	5	19	22	25	47	
運輸業・郵便業	1	4	5		2	2	2	2	4		1	1							9		9	12	9	21	
卸売業・小売業		14	14	6	7	13	5	4	9	6	3	9				4	5	9	3	2	5	24	35	59	
金融業・保険業	3	16	19	4	7	11	10	11	21	1	6	7							2	1	3	20	41	61	
不動産業・物品賃貸業		4	4	1	1	2	1		1	1	2	3							2	3	5	5	10	15	
学術研究・専門・技術サービス業	1	5	6	2	2	4	6	3	9	3		3				1	2	3	10	8	18	23	20	43	
宿泊業・飲食サービス業		1	1							1		1										1	1	2	
生活関連サービス業・娯楽業	1	2	3	2	1	3	1		1										1		1	5	3	8	
教育・学習支援業	2	10	12	53	74	127	2	1	3	4	4	8										61	89	150	
医療・福祉		4	4	1	8	9							16	85	101	16	13	29				33	110	143	
複合サービス事業					1	1																	1	1	
サービス業				1	1	2		2	2	2		2							6		6	9	3	12	
公 国 家 公 務	3	2	5	5	2	7	16	9	25	2	1	3							1	2	3	27	16	43	
務 地 方 公 務	5	12	17	12	16	28	26	30	56	9	6	15				1		1	18	1	19	71	65	136	
上 記 以 外					1	1	1		1	1		1			1	1							2	2	4
そ の 他	13	24	37	11	29	40	21	18	39	18		18	92 (78)	39 (33)	131 (111)	3	3	6	22	4	26	180 (78)	117 (33)	297 (111)	

卒業生数は平成28年度間(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)に卒業した者を示す。「その他」欄の医学部の( )内は、臨床研修医を示す。

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティミュージアム

沿革略図

沿革略年表

### 3 職員・学生数等

## 修了後の状況

(H29.5.1現在)

区 分	大 学 院																																				
	教育学研究科 (修士)			社会学研究科 (博士前期)			自然科学研究科 (博士前期)			医学教育部 (修士)			保健学教育部 (博士前期)			薬学教育部 (博士前期)			社会学研究科 (博士後期)			自然科学研究科 (博士後期)			医学教育部 (博士)			保健学教育部 (博士後期)			薬学教育部 (博士後期)			法曹養成研究科 (専門職学位)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
修了者数	24	18	42	26	31	57	378	60	438	3	9	12	14	11	25	17	13	30	2	3	5	40	9	49	53	13	66	1	1	2	15	6	21	3	1	4	
進学者数	1		1	1	1	2	26	3	29	2	2	4	2	1	3	4	7	11																			
就職者数	20	16	36	14	13	27	326	54	380	1	6	7	10	10	20	13	6	19	1	2	3	23	8	31	44	9	53	1	1	2	13	5	18				
農・林・漁業・鉱業																																					
建設業							23	5	28											2	2																
食料品・飲料・たばこ・飼料							7	2	9							1	1	2		1	1								1	1							
繊維工業							5	3	8																												
印刷・同関連業							2	2	4																												
化学工業、医薬品、石油・石炭製品							30	11	41	1	3	4				8	1	9		1	1	1	1	1	1	1	1		3	1	4						
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品							25	3	28																												
はん用・生産用・業務用機械器具							36	3	39				2	2	4	1	1	2		3	3	1	1	1					1	1							
電子部品・デバイス・電子回路							30	1	31																												
電気・情報通信機械器具							29	1	30											2	1	3															
輸送用機械器具							29	4	33																												
その他							13	2	15											1	1																
電気・ガス・熱供給・水道業							10	10	20											1	1																
情報通信業	1		1	1	2	3	18	1	19							1	1	2		1	1																
運輸業、郵便業				1	1	2	6	6	12																												
卸売業・小売業				1	1	2	4	3	7																				1	1							
金融業・保険業							1	1	2											1	1																
不動産業、物品賃貸業							1	1	2																												
学術研究、専門・技術サービス業				3	1	4	29	6	35					1	1	2					2	2	4					1	1	2							
宿泊業、飲食サービス業																																					
生活関連サービス業、娯楽業																																					
教育、学習支援業	17	13	30	4	5	9	8	2	10		1	1	1	3	4				1	1	2	9	5	14	7	2	9		4	1	5						
医療、福祉	1	2	3	1	1	2					2	2	7	7	14	2	2	4							35	7	42	1	1	2	2						
複合サービス事業							1	1	2																												
サービス業							4	1	5							2	2	4																			
国家公務							6	1	7																												
地方公務		1	1	2	1	3	8	5	13																												
上記以外	1		1	2	1	3	1	1	2																				1	1							
その他	3	2	5	11	17	28	26	3	29		1	1	2	2					1	1	2	17	1	18	9	4	13		2	1	3	3	1	4			

修了者数は平成28年度間(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)に修了した者を示す。

# 学位授与数

(H29.3.31現在)

区 分	旧制	新 制				
		課 程			論 文	
		卒業生・修了者	遡及修了者	累 計	平成28年度	累 計
博士（文学）		4	0	70	1	19
博士（公共政策学）		0	0	22	0	3
博士（法学）		0	0	8		
博士（理学）		9	1	207	0	30
博士（工学）		17	3	665	0	110
博士（学術）		14	2	337	0	20
博士（医学）	1,663	38	13	2,120	13	999
博士（保健学）		1	0	7		
博士（看護学）		0	0	2		
博士（薬学）		6	0	273	1	154
博士（薬科学）		11	1	25	3	6
博士（臨床薬学）		0	0	7		
博士（生命科学）		1	0	24	0	5
博士（健康生命科学）		2	0	2		
法務博士（専門職）		4	0	176		
修士（文学）		26		1,043		
修士（教育学）		42		1,179		
修士（法学）		5		464		
修士（公共政策学）		4		92		
修士（医科学）		10		294		
修士（看護学）		9		64		
修士（保健学）		16		89		
修士（薬科学）		24		166		
修士（薬学）		0		1,591		
修士（臨床薬学）		0		76		
修士（健康生命科学）		8		23		
修士（理学）		81		2,341		
修士（工学）		354		9,256		
修士（学術）		13		107		
修士（教授システム）		12		118		
合 計	1,663	711	20	20,848	18	1,346

平成28年度中に授与した学位の数(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

# 奨学生数

(H29.3.1現在)

区 分	在学生数	日本学生支援機構			各種団体 育 英 会	合 計	
		一 種	二 種	計			
学 部	7,936	2,220	1,940	4,160	120	4,280	
大学院	博士前期・修士	1,326	559	77	636	11	647
	博士後期・博士	728	63	4	67	1	68
	法曹養成研究科	17	10	3	13	0	13
合 計	10,007	2,852	2,024	4,876	132	5,008	

「学部」は、特別支援教育特別専攻科及び看護教諭特別別科を含む。

# 4 国際交流

## 国際交流協定

### 大学間交流協定

(H29.5.1現在)

国名・地域	大学名	協定締結年	
		研究者交流	学生交流
ネパール	ボカラ大学	2010	
バングラデシュ	ダッカ大学	2000	
ミャンマー	ヤンゴン工科大学	2015	2015
	バテイン大学	2016	2016
タイ	カセサート大学	1994	2012
	コンケン大学	2004	2005
	マヒドン大学	2013	2013
マレーシア	マレーシア理科大学	2012	2012
	スラバヤ工科大学連合	2008	2008
	バンドン工科大学	2011	2011
	ガジャマダ大学	2013	2013
インドネシア	アイルランガ大学	2013	2014
	ウダヤナ大学	2015	
	インドネシア大学	2016	2016
	ブラウジャヤ大学	2016	2016
	フィリピン大学デリマン校	2002	2011
フィリピン	フィリピン大学ロスバニョスコ校	2015	
	アテネオ・デ・マニラ大学	2016	2016
	培材大校	1999	2000
	東亜大校		2005
	韓国科学技術院	2006	2006
	朝鮮大校	2009	2009
	国立釜慶大校	2011	2011
	ソウル市立大校	2011	2011
	亜細亜大校	2011	2011
	忠北大校	2012	2012
	釜山大学校	2012	2012
	全北大学校	2012	2012
	韓南大学校	2016	2016
	ハノイ国家科学工科大学	2007	2008
	ホーチミン工科大学	2010	2010
	フエ大学	2010	2010
	ハノイ建設大学	2010	2010
	ベトナム国家大学ハノイ社会科学部	2016	2016
	ハノイ国家大学外国語大学	2016	2016
	貿易大学	2016	2016
	広西師範大学	2005	2005
	同濟大学	2007	2005
	南昌大学	2006	
	大連理工大	2006	2006
	上海師範大	2008	2008
	南開大	2009	
	山東大	2009	2009
	吉林大	2009	2009
	四川大	2009	2009
	哈爾濱工業大	2009	2009
	東北大	2010	2010
	北京工業大	2011	2011
	マカオ大	2011	2011
	深セン大	2011	2011
	華東政法大	2011	2011
	吉林化工学院	2013	2013
	東北師範大	2014	2014
	重慶大	2014	2014
	南京師範大	2015	2015
	桂林理工大	2015	2015
	安徽大	2015	2015
	武漢理工大	2016	2016
カンボジア	王立プノンペン大	2016	2016
ラオス	ラオス国立大	2011	2011
	南台科技大	2008	2008
	国立清華大	2015	2015
	国立高雄大	2016	2016
	長榮大	2016	2016
	エーゲ大	2000	2005
	チャナカレ・オンセキズ・マルト大	2015	2015
	スエズ運河大	2006	
	ファウム大	2008	2013
	ムヒンビリ医科学大	2016	2016
	ムブジマイ大	2015	2015
	ルワンダ国立大	2014	2014
	ジブチ大	2013	
	ワガ第一ジョゼフ・キ・セルボ教授大	2016	
	ニューカッスル大	2008	1986
	クイーンズランド工科大学	2014	2014
	シドニー工科大学	2017	2017
	マッセー大	2008	1996
	アルバータ大	2001	
	マギル大	2016	
	モンタナ州立大	1987	1987
	モンタナ大	1987	1987
	バージノコモンウェルス大	1989	
	ノースカロライナ大シャーロット校	1990	
	テキサステック大	1994	
	テキサス大サンアントニオ校	2010	
	カリフォルニア大ロサンゼルス校	2014	
	マサチューセッツ大ポストン校	2016	
	ダラム大	2015	1993
	パーミンガム大	1993	1994
	リーズ大		2006
	ザールラント大	2001	2002
	ホルダー工科大学	2006	2006
	ホルダー大連合	2007	2007
	エクス・マルセイユ大	2016	2016
	ヴァレニア大	2014	2016
	ワルシャワ大	2009	2009
	ルブリン工科大学	2015	
	パーズマニ・ベテル・カトリック大	2015	
	ブカレスト大	2015	2015
	マリボル大	2016	2016

※大学間交流協定校 106機関(31か国1地域)

### 部局間交流協定

(H29.5.1現在)

部局名	国名・地域	大学名	協定締結年	
			研究者交流	学生交流
文学部	ドイツ	ボン大学人文科学部	1997	1997
	中国	杭州師範大学外国語学部	2010	2010
	台湾	淡江大学外国語学院	2013	2013
文学部、社会文化科学研究科	ケニア	フワニ大学人文社会科学部	2015	
	スイス	チューリッヒ大学・文芸部東洋学科日本学部門	2016	2016
社会文化科学研究科	中国	復旦大学国際関係及び公共事務学院	2009	2010
教育学部	韓国	江南大学校教育学部	2002	2003
	台湾	南興科技大	2005	2005
法曹養成研究科	韓国	嶺南大学校法政専門大学院	2010	
法学部、社会文化科学研究科、法曹養成研究科	台湾	東呉大学・法学院	2017	2017
医学部	中国	中国医学科学院	1983	
医学部、生命科学部、医学教育部	中国	廈門大学神経科学研究所、医学院	2010	
	中国	浙江大医学部	2010	
医学部、生命科学部、保健学教育部	韓国	高麗大保健科学部、大学院バイオ融合工学科	2007	2008
	フランス	ラオス保健科学大看護学部	2014	
生命科学部	中国	瀋陽医科大学	2008	
生命科学部、医学教育部	中国	広西医科大学	2007	2012
生命科学部、医学教育部、薬学教育部、生命資源研究・支援センター	中国	哈爾濱医科大学	1999	2014
生命科学部、保健学教育部	アメリカ	カリフォルニア大サンフランシスコ看護大学院	2011	
		サンフランシスコ大看護大学院	2012	
	タイ	ナレアン大医療保健学部	2016	
生命科学部、医学部附属病院	台湾	国立成功大病院	2014	
	スーダン	国立薬用植物有用植物研究所	2012	
薬学部、生命科学部、薬学教育部	アメリカ	セント・ジョーンズ大薬学大学院	2012	
		ジョージア州立大炎症・免疫・感染研究センター	2013	
薬学部、生命科学部、薬学教育部、薬用資源・エコノミクスセンター	スリランカ	ケラヤ大 ガンハウィツカマラチ アーユルヴェータ研究所	2014	
薬学部、薬学教育部	スーダン	ハルツーム大薬学部	2016	
	カンボジア	カンボジア国立保健科学大	2016	
	韓国	高神大校一般大、保健福祉大	2011	2011
	マレーシア	ペトロナス工科大学	2012	2012
理学部、工学部、先端科学研究部、自然科学研究科	フランス	ブレスト大	2012	2012
		サンテティエンヌ国立高等師範学校	2012	2012
	チェコ	ハルドゥビツェ大	2015	2015
	キルギス	キルギス・トルコナスタ大工学部、理学部、自然・応用科学研究所	2016	2016
理学部、工学部、先端科学研究部、自然科学研究科、VLSI・パワー科学研究所	メキシコ	ヌエボレオン州自治大機械電気工学部	2015	2015
		ベトナム自然資源環境地質科学部資源研究所	2007	
	モンゴル	モンゴル生命科学大経済経営学部	2013	2013
理学部、先端科学研究部、自然科学研究科	モンゴル	モンゴル国立大数学・コンピュータ部	2013	2013
	韓国	慶北大校自然科学部、師範学部	2014	2014
	フランス	ロレーヌ大CRM2 Laboratory	2014	2014
工学部、先端科学研究部	中国	中国科学院力学研究所	1993	
	インド	アナマライ大工学部	2006	
		カルナタカ国立工科大学	2009	2009
		マニパール大	2009	2009
	インドネシア	テレコム大電気工学部、大学院	2014	2014
		ハサヌティン大工学部	2015	2015
	タイ	チュロンコン大工学部	2011	2011
		キングモンクット工科大学ラックラン工科大学	2014	2014
	フィリピン	デ・ラ・サール大工学部	2011	2011
		ダナン工科大学	2008	2008
	ベトナム	ホーチミン市建築大	2008	2014
		ハノイ鉱山・地質大	2015	2015
	ミャンマー	マンダレー工科大学	2015	2015
	モンゴル	モンゴル科学技術大	2016	2016
		湖西大校工科大学	2007	
	韓国	仁荷大校工学部、工学研究科、熱プラズマ環境技術研究センター	2011	
		韓国海洋大校工科大学	2011	2011
		広西大生木建築工務院、化学工務院	2007	
工学部、先端科学研究部、自然科学研究科	中国	北京工務院	2008	2008
		瀋陽建築大土木工務院、都市環境工務院、交通工務院及び大学院	2010	2010
		貴州学院	2011	2011
		ハルビン商業大エネルギー及び建築学院	2012	2012
		浙江工商大観光・都市管理学部	2016	2016
	台湾	国立高雄第一科技大学工務院、電機資訊学院	2009	2009
		国立台北科技大学電機院	2014	2014
	トルコ	チャンクルカフテキン大工学部	2015	2015
	アメリカ	ガジ大工学部、大学院自然・応用科学研究所	2015	2015
		ジョージア工科大学工学部	1996	2003
	カナダ	ウオータールー大工学部	2013	
		クイーンズ大	2014	
	ブラジル	カンピーナス大	2009	2009
	フランス	グルノーブル・アルプ大ポリテック・グルノーブル、L'UFR PHITEM	2011	2011
	ドイツ	ルール大ポーム社会環境工学部	2014	2014
		アーヘン工科大学資源材料工学部、物理冶金および金属物理研究所	2015	2015
	オランダ	トゥウエンテ大工学技術部	2015	
	チェコ	オストラバ工科大学及びチェコ科学アカデミー地球科学研究所	2009	2010
		チェコ科学アカデミー物理研究所	2015	
工学部、先端科学研究部、自然科学研究科、最先端ナノシム国際研究センター	韓国	韓国生産技術院融合工務院新素材研究実用化グループ	2003	
	タイ	モンクット王立工科大学エネルギー環境大学院	2016	2016
	ベトナム	ベトナム科学技術アカデミー海洋地質地球物理学研究所	2017	
		ベトナム国立自然博物館	2012	
	韓国	延世大校工科大学	2013	
先端科学研究部、自然科学研究科	中国	中山大地理科学計画学院	2013	2013
	トルコ	ボアジチ大環境科学研究所	2008	2008
	カナダ	カルガリー大工学部	2016	2016
	ドイツ	ライプツィツ応用地球科学研究所	2013	
	ポーランド	AGH科学技術大物質科学部	2010	2010
	チェコ	ブラハ化学技術大	2010	2010
先端科学研究部、自然科学研究科、VLSI・パワー科学研究所	アメリカ	カーネギー研究所地球科学研究所	2015	
	韓国	湖西大校ナノ材料および応用製品地域技術革新センター	2004	
パルスパワー科学研究所	ロシア	ノボシビルスク州立工科大学航空工学部および機械工学部	2008	
	イギリス	グラスゴウ大工学部	2014	
	キルギス	キルギス共和国国立アカデミー化学及び工学技術研究所	2014	
政策創造研究教育センター	中国	上海交通大国際公共事務学院	2013	2013
	オーストラリア	ウィーン大、言語文化学部	2016	
沿岸域環境科学教育研究センター	台湾	台湾行政院農業委員会水産試験所	2014	
	韓国	韓国材料科学研究所軽金属部門	2014	
先進マグネシウム国際研究センター	韓国	ソウル大マグネシウム技術革新センター	2015	
	オーストラリア	クイーンズランド大材料工科大学	2013	
	ロシア	州立トリツチ大先進技術研究所	2015	
	韓国	韓国生命工学院ラボラトリアニマルリソースセンター	2013	
	中国	中国科学院上海実験動物センター	2004	
	台湾	中国食品医薬品検定研究院	2012	
生命資源研究・支援センター	台湾	国家実験研究院国家実験動物センター	2010	
	オーストラリア	オーストラリア国立大オーストラリアフェミクスアソシエイト	2014	
	アメリカ	ジャクソン研究所	2004	
		カリフォルニア大デービス校マシイオロジープログラム	2013	
	イギリス	医学研究評議会	2011	
	フランス	バスツール研究所	2015	
	スペイン	スペイン国立研究所	2012	
エイズ研究センター	タイ	メーファールン大医学部	2016	2016

※部局間交流協定校 111機関(32か国1地域)

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学

ユニバーシティ

沿革略年表

# 研究者の派遣・受入れ

(平成28年度)

地域	国名・地域名	派 遣						受 入							
		文部科学省	日本学術振興会	国際協力機構	その他国内資金	外国政府・研究機関等	私費	計	文部科学省	日本学術振興会	国際協力機構	その他国内資金	外国政府・研究機関等	私費	計
アジア	インド		2		7		3	12	5			4		2	11
	インドネシア	4		1	4	3	1	13	3			8	14		25
	カンボジア	1			5			6							0
	シンガポール		2		25	2		29				1			1
	タイ		1	3	30	3	1	38	1		7	20	1	2	31
	ネパール		2		3			5							0
	バングラデシュ		2					2	1	4		8	1	3	17
	フィリピン	1	2		4			7	1			2			3
	ブータン				1			1							0
	ベトナム	4			23	1	1	29			1	5			6
	マレーシア		2		11			13	1			8			9
	ミャンマー	1	4	3	11	7		26			5				5
	モンゴル				6			6	1		1	1	3		6
	ラオス	1	1		1			3							0
	韓国	1	8		117	16	7	149	5	2		7	2	1	17
台湾	8	2		44	7	5	66	1				7	6	14	
中国	3	5		86	12	4	110	8	7		6	13	14	48	
小計	24	33	7	378	51	22	515	27	13	14	70	41	28	193	
中近東	アラブ首長国連邦				1		1							0	
	イスラエル				1		1	1				1		2	
	イラン						0	1						1	
	サウジアラビア					1	1							0	
	シリア						0	1						1	
	トルコ	1	3		2			6	1	1		1		3	
	パキスタン							0				1		1	
	小計	1	3	0	4	1	0	9	4	1	0	3	0	0	8
	アルジェリア							0	1						1
	ウガンダ							0					3		3
エジプト							0			3	2	1	2	8	
エチオピア					1		1			1				1	
カメルーン							0		2					2	
ケニア				1			1							0	
スーダン							0						1	1	
タンザニア				4			4		1		2			3	
ナイジェリア							0					1		1	
ベナン							0						1	1	
モーリシャス		1		1			2							0	
モロッコ				1			1							0	
南アフリカ				3			3				1			1	
小計	0	1	0	10	1	0	12	1	3	4	5	5	4	22	
オセアニア	オーストラリア		1		32		3	36				1		1	4
	サモア						1	1						0	
	ニューカレドニア				2		2							0	
	ニュージラランド				5	1	6				3			3	
小計	0	1	0	39	1	4	45	0	2	0	4	0	1	7	
北アメリカ	アメリカ	6	18		235	7	11	277	18	2		12	4	22	58
	カナダ		2		17			19				3		3	
	小計	6	20	0	252	7	11	296	18	2	0	12	7	22	61
中南アメリカ	アルゼンチン				2		2		1					1	
	スリナム						0				2			2	
	ブラジル				2		2							0	
	メキシコ				2	1	3							0	
	小計	0	0	0	6	1	0	7	1	0	2	0	0	3	
ヨーロッパ	アイルランド				5		5							0	
	アゼルバイジャン				2		2				1			1	
	イギリス	1	4		26	1	2	34	7	3		6	1	17	
	イタリア				23		3	26	1					1	
	ウクライナ				1		1							0	
	エストニア				1		1	2						0	
	オーストリア		6		17	1	2	26		1		4		5	
	オランダ	4	1		1	1	1	7						0	
	カザフスタン					1		1				1		1	
	ギリシャ				4			4						0	
	スイス		1		5	1	1	8	1	1		2	1	5	
	スウェーデン				18	1		19		1				1	
	スペイン	1	2		18			21				1		1	
	スロバキア		1		2			3	1	1				2	
	スロベニア					1		1						0	
	チェコ	1	2		4			7		2		1		3	
	デンマーク		1		5			6						0	
	ドイツ	1	1		53	8	1	64	3	4		5	8	20	
	ハンガリー							0				1		1	
	ノルウェー				1			1						0	
	フィンランド				6			6						0	
	フランス	2	3		38	1	2	46	4			5	6	1	16
	ベルギー				5			5		1					1
	ポーランド				4	2		6							0
	ボルトガル		1		12			13							0
ルーマニア				1			1							0	
ルクセンブルク				1			1							0	
ロシア		2		4			6	2	2		5		1	10	
小計	10	25	0	257	18	12	322	19	16	0	32	16	2	85	
計	41	83	7	946	80	49	1206	70	37	20	126	69	57	379	

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティ・プログラム

沿革略図

沿革略年表

## 4 国際交流

# 海外派遣留学生

### 交流協定校への派遣学生

(学生交流協定を締結している大学への3ヶ月以上1年以内の派遣)

(過去5年間の実績)

国名・地域	大 学 名	派 遣 人 員														
		平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
アメリカ	モンタナ州立大学	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	1	1	2	0	2
	モンタナ大学	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジョージア工科大学	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
カナダ	アルバータ大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
オーストラリア	ニューカッスル大学	0	2	2	0	0	0	2	1	3	0	4	4	0	1	1
ニュージーランド	マッセー大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
イギリス	リーズ大学	3	2	5	0	1	1	2	6	8	0	5	5	2	3	5
	バーミンガム大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダラム大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	4
ドイツ	ボン大学 (文学部との部局間交流協定校)	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	ザールラント大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	3
フランス	ボルドー大学連合	0	1	1	0	1	1	3	1	4	1	2	3	1	3	4
	ボルドー工科大学	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	ブレイズパスカル大学 (理学部・工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	—	—	—	—	—	—	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	ロレーヌ大学 (理学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	0	0	0
	サンテティエンヌ国立高等鉱業学校 (理学部・工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
ポーランド	ワルシャワ大学	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
チェコ	オストラハ工科大学及び チェコ科学アカデミー地球科学研究所 (工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	プラハ化学技術大学	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0	0	0	0
スロベニア	マリボル大学	—	—	—	1	0	1	1	0	1	1	0	1	3	0	3
ロシア	ノボシビルスク州立工科大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
中国	上海師範大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	華東政法大学	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同済大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	0	2	2
	上海交通大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
台湾	深 圳 大 学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1
	南 榮 科 技 大 学 (教育学部との部局間交流協定校)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南 台 科 技 大 学	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0
韓国	東 亜 大 学 校	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ソウル市立大学校	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マレーシア	マレーシア理科大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1	1	0	0	0
ベトナム	ハノイ建設大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インドネシア	バンドン工科大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スラバヤ工科大学	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	ガジャマダ大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0
インド	アナマライ大学	—	—	—	—	—	—	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合 計		9	8	17	6	8	14	16	11	27	10	17	27	17	15	32

組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティ・ミュージアム  
沿革略図  
沿革略年表

# 海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム

全学生を対象に、夏休みや春休みを利用して協定校等で2週間～1ヶ月の短期セミナーを実施しています。

国名・地域	大学名	実施期間	平成	累計																		
			10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度
協定校	カナダ アルバータ大学	夏期4週間	10	16	9	26	23	29	23	15	28	14	14	20	13	28	39	38	32	377		
	アメリカ モンタナ州立大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	14	
	イギリス リーズ大学	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	7	8	17		
	オーストラリア ニューカッスル大学	春期2週間	-	-	-	-	-	7	5	6	8	6	4	15	18	11	16	25	30	7	158	
	フィリピン アテネオマニラ大学	4週間 ※随時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	21	
	韓国 東亜大学校	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	11	7	6	7	5	5	4	4	5	4	7	65
	韓国 培材大学校	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	4	6	5	1	-	-	-	-	23
	韓国 朝鮮大学校	夏期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	韓国 朝鮮大学校	冬期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	5
	韓国 ソウル市立大学校	夏期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	1	-	-	-	-	10
	韓国 釜慶大学校	夏期10日間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	5
	中国 上海師範大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10	10	5	11	-	-	-	-	-	-	41
	中国 上海師範大学	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	3
	中国 華東政法学院	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	中国 同済大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	6
台湾 南台科技大学	夏期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	2	5	2	5	5	3	29	
協定校外	ドイツ フライブルク大学	夏期4週間	-	-	-	8	7	13	9	22	18	21	16	30	6	15	22	37	21	5	10	260
	アメリカ カリフォルニア大学ロサンゼルス校	夏期4週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	18	-	48	
	アメリカ ハワイ大学マノア校	春期3週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0	-	6	
	ニュージーランド マッセー大学	冬期2週間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8	14	
合計			10	16	9	34	30	13	57	50	55	78	57	68	69	69	78	100	135	115	72	1,115

## 国際奨学事業

本事業は、本学学生の海外での学習・研究活動への参加を支援するために平成17年度からはじまった本学独自の奨学金制度です。対象となる活動は、国際学会での発表、国際的な調査活動、国際インターンシップ、交流協定校での目標を定めた学習、国際的な学習・研究活動、短期海外語学セミナーです。

### 国際奨学事業受給者

部局名		平成27年度			平成28年度		
		男	女	計	男	女	計
学部	文学部	0	3	3	2	0	2
	教育学部	0	3	3	6	3	9
	法学部	0	3	3	2	4	6
	理学部	0	2	2	2	3	5
	医学部	0	1	1	1	0	1
	薬学部	6	4	10	2	2	4
	工学部	10	4	14	13	2	15
小計		16	20	36	28	14	42
大学院	教育学研究科(修士)	1	4	5	0	0	0
	社会文化科学研究科(博士前期)	4	3	7	3	1	4
	社会文化科学研究科(博士後期)	0	1	1	1	3	4
	自然科学研究科(博士前期)	14	4	18	14	4	18
	自然科学研究科(博士後期)	3	1	4	2	0	2
	医学教育部	5	3	8	5	2	7
	保健学教育部	2	1	3	5	3	8
	薬学教育部	1	1	2	2	0	2
法曹養成研究科	0	0	0	0	0	0	
小計		30	18	48	32	13	45
合計		46	38	84	60	27	87

※教育学部は特別支援教育特別専攻科を含む

### 活動内容

活動内容	(件数)	
	平成27年度以前	平成28年度
国際学会発表	691	41
国際的な調査活動	218	17
国際インターンシップ	87	17
留学	60	0
その他	201	12
合計	1257	87

#### 渡航した国・地域(平成28年度)

ドイツ	イギリス	オーストラリア	チェコ
スロベニア	フランス	ポルトガル	スペイン
スウェーデン	アメリカ	カナダ	ブラジル
中国	韓国	台湾	モンゴル
タイ	ラオス	ベトナム	カンボジア
シンガポール	フィリピン	マレーシア	

### 海外語学セミナーへの補助

国名	大学名	(件数)	
		平成27年度	平成28年度
カナダ	アルバータ大学	2	0
オーストラリア	ニューカッスル大学	2	2
ドイツ	フライブルク大学	0	1
アメリカ	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	3	0
アメリカ	モンタナ州立大学	0	1
イギリス	リーズ大学	1	0
フィリピン	アテネオマニラ大学	0	10
合計		8	14

※海外語学セミナーへの補助は19年度より開始



# 生涯学習

## 公開講座

(平成28年度)

講座名	開催期間	募集人数	受講者数	受講対象者
薬を知ろう!～大衆薬・サプリメント編～	6/11～10/8	20	9	一般社会人
陸上競技教室	7/16～8/27	40	44	小学生以上
ポジティブ・ディビアンズ: 身近にある解決策を見つけ出そう	8/5～8/7	20	4	自治体、NPO、住民組織など具体的な課題に取り組んでいる方
リーダーシップ・トレーニング	10/20～1/21	36	27	一般社会人、組織・団体のリーダー
薬を知ろう! ～医療用医薬品(病院・薬局でもらう薬)編～	10/15～11/19	15	9	一般社会人
世界の宗教と思想から見る「自然災害」	10/22～12/17	30	13	一般社会人
教育デザイン・ワークショップ入門編	10/15～11/20	200	212	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方
教育デザイン・ワークショップ応用編	1/14～1/22	120	105	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方

## 授業開放科目

平成28年度前学期

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	大学教育 統括管理 運営機構	(院) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	6	6	4	7	6	33	18	27	5	1	113
募集人員	30	30	20	35	30	165	90	129	25	5	559
受講者数	14	7	3	3	4	20	14	59	2	0	126

平成28年度後学期

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	大学教育 統括管理 運営機構	(院) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	10	2	2	11	5	25	21	34	2	1	113
募集人員	50	10	10	55	25	125	105	170	10	5	565
受講者数	8	0	3	4	3	11	10	49	2	1	91

## 知のフロンティア講座(全20回)

(平成28年度)

タイトル	開催回数	開催日
江津湖でジョギング&ウォーキング	5回	5月8日(日) 6月12日(日) 7月3日(日) 8月7日(日) 9月10日(土)
防災・減災を考える	5回	10月1日(土) 10月8日(土) 10月15日(土) 10月22日(土) 10月29日(土)
水前寺参道での健康講話	4回	9月23日(金) 11月4日(金) 1月6日(金) 3月17日(金)
高齢者の運動指導者研修会	2回	6月15日(水) 3月17日(金)
高齢者向け講演会	1回	9月29日(木)
くちビルディング選手権	1回	2月26日(日)
江戸時代の裁きと仕置き(関西オフィスセミナー)	1回	9月9日(土)
文学から読み解く歴史の実像(東京オフィスセミナー)	1回	9月25日(日)

組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティミュージアム  
沿革略図  
沿革略年表

# 包括的連携協定等

本学の知的・人的資源を活用して、連携各機関と相互に協力しながら、地域における教育や文化の質の向上、産業の振興、地域課題の解決、環境保全に貢献することを目的としています。

	機 関 [協定年月日]	目 的
自治体等	天草市(日本渡市) [平成16年3月29日]	包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	葦北郡芦北町 [平成18年12月4日]	中山間地域の振興を目指して相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	熊本市 [平成19年4月26日]	相互に協力し、熊本市及び熊本市都市圏を始めとする地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	水俣市 [平成19年8月4日]	環境モデル都市の実現のため、環境保全、人材育成、地域づくり等様々な分野において、相互に協力することを目的とする。
	熊本県一般社団法人アジア法務サポートセンター [平成24年11月30日]	熊本県内企業の海外展開支援を連携して行うことにより、熊本県地域経済の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする。
	菊池市 [平成26年8月18日]	大学の知的・人的資源を活かし、まちづくりなどを中心に、地域の課題解決に向けた市と大学との協力体制を築いていくことを目的とする。
研究機関等	財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 [平成18年4月21日]	相互に協力し、火山を始めとする阿蘇地域に関する研究及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	放送大学 [平成22年11月20日]	包括的な連携協力の下、教育研究の推進並びに地域及び国際社会に寄与することを目的とする。
	北陸先端科学技術大学院大学 [平成28年7月27日]	地震により被災した熊本地方の震災復興に向けた課題について、産学官連携活動を通じて、連携及び協力して取り組むことを目的とする。
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 [平成28年9月20日]	産業技術総合研究所及び熊本大学による研究開発及び研究・教育活動を連携及び協力して実施することにより、平成28年熊本地震により被災した熊本地方の早期の復興に寄与することを目的とする。
企業等	国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 熊本県 [平成29年3月17日]	自然共生型産業(バイオ・ヘルスケア・材料技術等)分野、医工連携分野、IoT・AI・ビッグデータ活用分野及びそれらの周辺分野において、国内外の様々な技術シーズを活かして事業化を目指す熊本県内の企業を連携して支援し、オープンイノベーションを通じて、新産業の創出を促進すること等により、熊本県内の産業の創造的復興及び我が国の経済発展に寄与することを目的とする。
	富士電機システムズ株式会社 [平成17年8月23日]	本学の有する研究成果と企業の有する技術力を集結し、産学の連携を推進することにより「次世代技術」を開発し、あわせて学術協力の振興、研究成果による社会貢献及び研究者・技術者の育成に資することを目的とする。
	DOWAホールディングス株式会社 [平成19年2月16日]	
	株式会社熊本日日新聞社 [平成23年2月23日]	包括的な連携の下、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	特定非営利活動法人NEXT熊本 [平成23年4月13日]	相互に有する人的、知的資源及び調査研究成果等の交流を行い、相互に連携することにより、地域情報化を推進し、あわせて学術研究の振興、地域情報化に係わる人材の育成に資することを目的とする。
	不二ライトメタル株式会社 [平成23年9月1日]	KUMADAI/マグネシウム合金の製造・開発にかかる連携協力を強化し、産業界における実用化を促進することを目的とする。
	熊本県 不二ライトメタル株式会社 株式会社日本医療機器技研 [平成27年9月28日]	各機関が有する人的・知的資源、研究・技術的成果を結集し、マグネシウム合金を使った医療機器の産業化による地域産業の活性化を目的とする。
	熊本県 株式会社肥後銀行 一般社団法人熊本県工業連合会 株式会社リバネス [平成28年2月9日]	大学等研究機関から事業シーズの発掘、創業支援を行い、将来的にはグローバルに活躍するメガベンチャーを創出することにより、熊本県内での新産業創出、雇用促進を図ることを目的とする。
	日立造船株式会社 熊本県 [平成28年2月15日]	日立造船と熊本大学において、熊本県の協力のもと、人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、地域社会の発展に資することを目的とする。
	平田機工株式会社 [平成28年8月8日]	平田機工株式会社と熊本大学との間で双方が有する人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、連携活動の強化を図り、地域社会の発展に資することを目的とする。
熊本県 熊本県商工会議所連合会 ミュージックセキュリティーズ株式会社 熊本県商工会連合会 熊本県中小企業団体中央会 熊本県中小企業家同友会 [平成28年12月26日]	平成28年熊本地震で被災した県内中小企業者について、熊本地震被災地応援ファンドによりその復旧・復興を支援し、新たな成長産業及び地域資源活用型産業につなげることによって、熊本県の創造的復興に寄与することを目的とする。	



▲北陸先端科学技術大学院大学との協定調印式



▲平田機工株式会社との協定調印式



▲産業技術総合研究所との協定調印式



▲産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構及び熊本県との協定調印式

# 五高記念館入館者数

## 入館者数

年度	開館日数	入館者数 (1日平均)	年度	開館日数	入館者数 (1日平均)
平成13年度	103	4,558 (約44人)	平成21年度	298	9,432 (約31人)
平成14年度	102	2,017 (約19人)	平成22年度	288	9,521 (約33人)
平成15年度	99	1,651 (約16人)	平成23年度	296	10,968 (約37人)
平成16年度	99	2,409 (約24人)	平成24年度	300	10,742 (約36人)
平成17年度	122	3,257 (約26人)	平成25年度	296	12,346 (約42人)
平成18年度	314	6,618 (約21人)	平成26年度	298	13,603 (約46人)
平成19年度	303	8,656 (約28人)	平成27年度	300	15,804 (約53人)
平成20年度	296	10,123 (約34人)	平成28年度	14	754 (約54人)

平成18年2月までは、土・日・日のみの開館  
※平成28年熊本地震による被災のため、平成28年4月15日から休館中

## 入館者数状況



▲展示室内の勝海舟筆扁額

## 6 福利厚生施設

### 保健センター

保健センターは、昭和48年に本学に設置されて以来、学生・教職員の身体及び精神上的の健康の保持増進を図るため、定期・臨時の健康診断、健康相談、応急措置等を行っています。

(H29.4.1現在)

職員数	構造等	主な施設	業務内容	備考
所長(併) 3名 専任教員(所長を含む) 3名 看護師 3名 学内医(併) 2名 カウンセラー 1名	鉄筋2階建 占有面積613㎡	診察室 検査室 休養室 相談室	定期及び臨時の健康診断、RI等取扱者の健康診断、健康相談、精神衛生相談、学生生活・教育相談、学業・進路相談、留学生相談、一般処置、スポーツクリニック、体育系サークル検診、保健センターだよりの発行及び保健情報の提供	昭和48年4月12日設置

### 学生寄宿舎

学生寄宿舎は、熊本大学黒髪キャンパスから東に約1.5Km離れた県道337号線沿いに位置し、本学学部学生及び学部留学生に対して勉学に資する生活の場を提供する目的で設置された施設です。

(H29.4.1現在)

定員数	対象者	構造・建物延面積	居室等	備考
男子 200名 (A棟 100名) (B棟 100名) 女子 80名 合計 280名	学部学生 及び 学部留学生	鉄筋5階建 (ただし、共通棟は鉄筋平屋建) 延面積5,024㎡	各室個室(10㎡) 男女浴室各1(共通棟) 各階に談話室、補食室、洗面・洗濯室、トイレ	昭和55年4月1日設置 (所在地) 熊本市中央区黒髪 7丁目763番地

### 学生会館

学生会館は、学生相互の親睦を深め、福利厚生の実現を図ることを目的として昭和41年に設立されたもので、会館には、集會室、体育団体・文化団体連絡室、食品・書籍・文具・プレイガイド及び食堂等があります。

(H29.4.1現在)

北地区学生会館 A 棟					北地区学生会館 B 棟				
課外活動施設関係			福利厚生施設関係		課外活動施設関係			福利厚生施設関係	
種別	部屋数	面積	種別	面積	種別	部屋数	面積	種別	面積
大集会室	1	501㎡	食堂	622㎡	体育会本部室	1	74㎡	理髪所	33㎡
音楽室	1	100㎡	厨房	263㎡	文化部会室	1	52㎡		
集会室	5	322㎡	購買関係	500㎡	紫熊祭本部室	1	57㎡		
和室	2	46㎡	機械室	46㎡	ミーティング室	2	118㎡		
その他		505㎡	その他	570㎡	その他		289㎡		
合計		1,474㎡	合計	2,001㎡	合計		590㎡	合計	33㎡
総面積					4,098㎡				

### 体育施設

(H29.4.1現在)

地区	施設名	面積等
黒髪	陸上競技場	1面 (トラック300m、7コース)
	ラグビー場	1面
	サッカー場	1面
	テニスコート	4面 (教育学部東教場)
	プール	50m8コース
	体育館	2棟 5,016㎡
	体育器具庫	3棟 736㎡
渡鹿 (大江総合運動場) ※主として課外活動用	野球場	1面 (両翼88m、中堅110m)
	テニスコート	8面
	アーチェリー場	1基 (10人立)
	弓道場	1棟 (8人立)、191㎡
	体育館	1棟 990㎡
	自動車練習場	1面 2,378㎡
	合宿研修棟	1棟 1,068㎡
	体育器具庫	1棟 1,068㎡
本荘	テニスコート	1面
	体育館 (武道場を含む)	1棟 1,446㎡
大江 (薬学部)	運動場	1面
	テニスコート	1面
	体育館	1棟 1,071㎡
三角 (宇城市三角町)	ヨット用艇庫	1棟 121㎡
	合宿所	1棟 59㎡
広木	漕艇用艇庫	1棟 225㎡(土地は熊本市から借用)

### その他の福利厚生施設

(H29.4.1現在)

地区	施設名	面積	席数
黒髪(南)	F O R I C O 食堂	950㎡	412
	F O R I C O 売店	165㎡	—
本荘	楷樹会館食堂	207㎡	153
	楷樹会館購買	107㎡	—
大江	蕃滋館食堂	185㎡	160
	蕃滋館購買	56㎡	—

# 7 財政

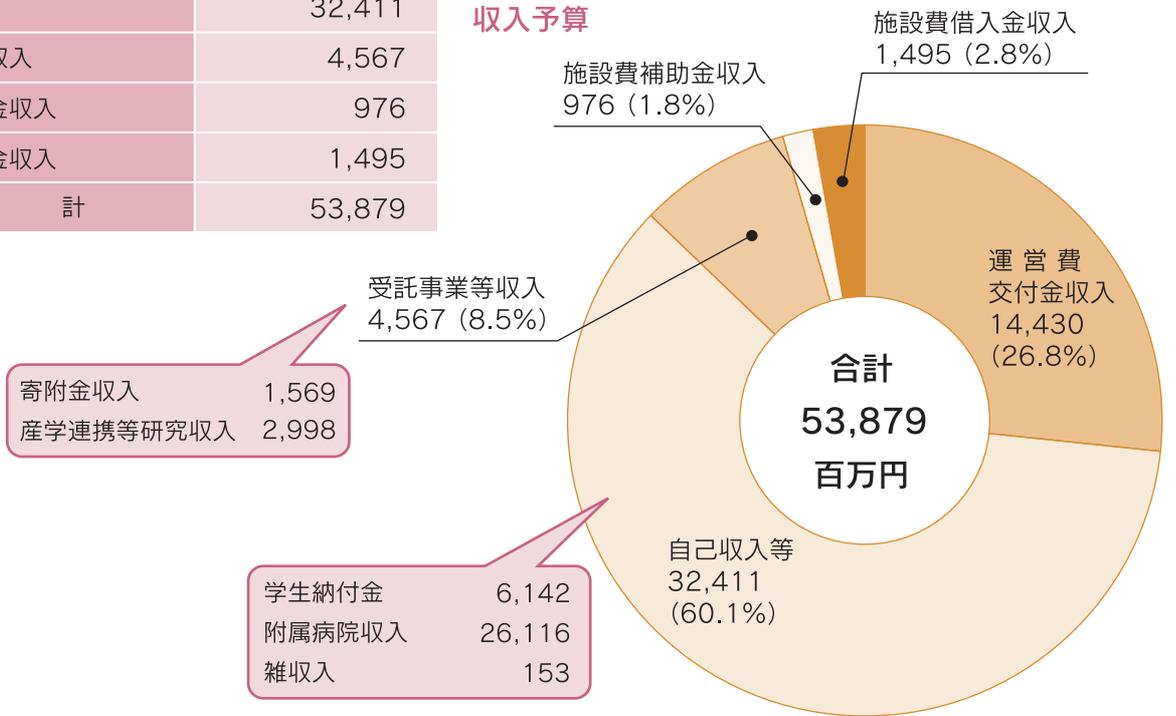
## 平成29年度収入・支出予算額

### 収入予算

単位：百万円

事 項	収 入 額
運営費交付金収入	14,430
自己収入等	32,411
受託事業等収入	4,567
施設費補助金収入	976
施設費借入金収入	1,495
合 計	53,879

### 収入予算

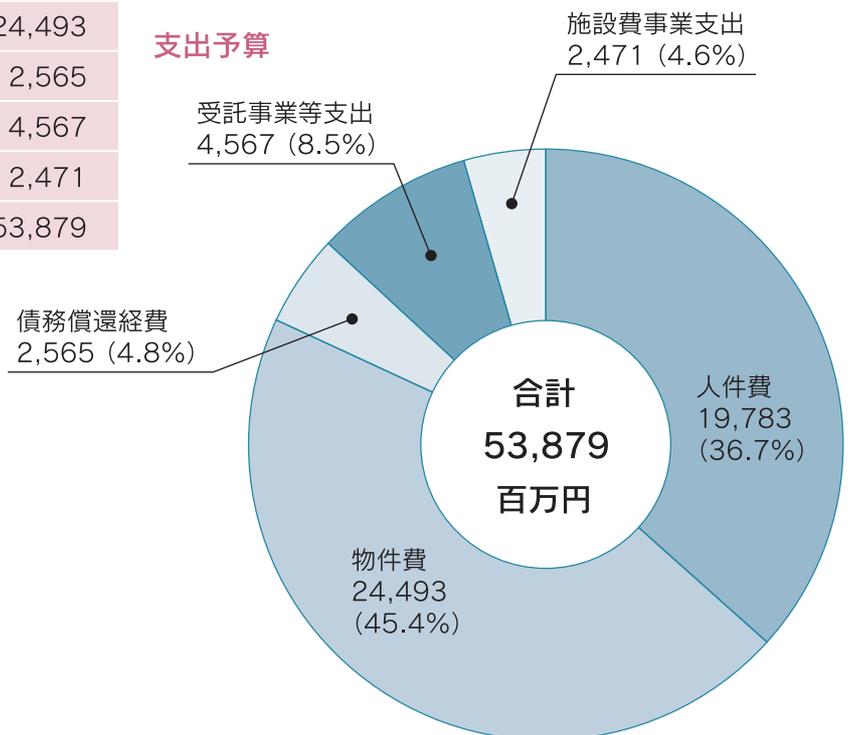


### 支出予算

単位：百万円

事 項	支 出 額
人件費	19,783
物件費	24,493
債務償還経費	2,565
受託事業等支出	4,567
施設費事業支出	2,471
合 計	53,879

### 支出予算



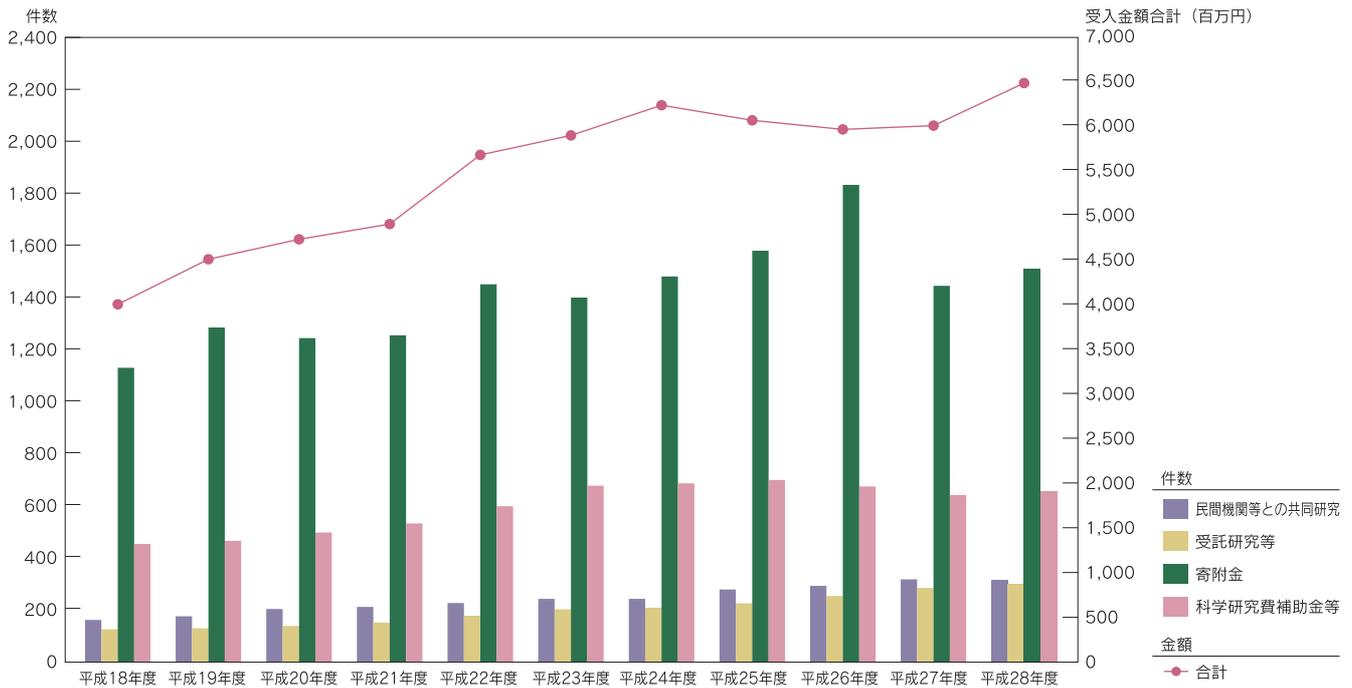
# 科学研究費助成事業採択状況

(平成28年度 執行見込額)

種 別	件 数	金 額 (千円)
新学術領域研究(領域提案型)	24	193,570
基盤研究(S)	3	150,800
基盤研究(A)	12	153,140
基盤研究(B)	75	373,100
基盤研究(C)	311	468,246
挑戦的萌芽研究	68	111,150
若手研究(A)	12	69,940
若手研究(B)	135	201,053
研究活動スタート支援	10	14,560
研究成果公開促進費	2	2,500
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	3	34,320
特別研究員奨励費	32	31,870
総 計	687	1,804,249

間接経費を含む。千円未満は四捨五入。

# 外部資金等受入状況



	民間機関等との共同研究		受託研究等		寄附金		科学研究費補助金等		合計 金額(千円)
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
平成18年度	162	280,397	126	782,534	1,131	1,100,367	454	1,846,738	4,010,036
平成19年度	177	322,753	131	1,197,621	1,286	1,211,178	466	1,784,457	4,516,009
平成20年度	204	346,947	139	1,145,421	1,245	1,419,462	498	1,827,264	4,739,094
平成21年度	212	249,108	150	779,525	1,256	1,610,661	533	2,262,968	4,902,262
平成22年度	227	321,015	172	1,110,084	1,452	1,717,616	599	2,528,118	5,676,833
平成23年度	243	384,620	197	1,080,221	1,401	1,799,194	678	2,642,832	5,906,867
平成24年度	243	361,469	206	988,966	1,482	1,828,130	687	3,067,303	6,245,868
平成25年度	279	383,877	221	949,472	1,581	1,849,497	700	2,885,846	6,068,692
平成26年度	293	416,315	252	1,366,782	1,834	1,685,254	675	2,508,927	5,977,278
平成27年度	318	411,237	285	2,265,917	1,446	1,568,707	642	1,783,050	6,028,911
平成28年度	313	500,262	299	2,392,851	1,512	1,831,884	660	1,827,391	6,552,388

※旧科学技術振興調整費を含む。 ※寄附講座分を含む。 ※熊本大学基金は含まない。 ※特別研究員奨励費は含まない。

## 7 財政

### 主な競争的資金採択状況

#### スーパーグローバル大学等事業（国際化拠点整備事業費補助金）

事業名	プログラム名称	実施期間
スーパーグローバル大学創成支援事業 (タイプB:グローバル化牽引型)	地域と世界をつなぐグローバル大学Kumamoto	平成26～35年度

#### 大学改革推進等補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	活力ある地域社会を共に創る火の国人材育成事業	平成26～30年度
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+事業)	“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と 雇用創出のための教育プログラム	平成27～31年度

#### 地域産学官連携科学技術振興拠点施設整備費補助金

事業名	拠点名	実施期間
地域科学技術実証拠点整備事業	自然共生型産業イノベーションセンター	平成28～30年度

#### 研究大学強化促進費補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
研究大学強化促進事業		平成25～34年度

#### 科学技術人材育成費補助金（旧科学技術振興調整費）

事業名	プログラム名称	実施期間
テニュアトラック普及・定着事業		平成26～30年度
卓越研究員事業		平成28～32年度
女性研究者研究活動支援事業(拠点型)		平成25～27年度

#### 教育改革プログラム

事業名	プログラム名称	実施期間	申請部局
博士課程教育リーディング プログラム(複合領域型)	グローバルな健康生命科学パイオニア養成 プログラムHIGO	平成24～30年度	医学教育部 薬学教育部
大学間連携共同教育推進事業 (地域連携)	減災型地域社会のリーダー養成プログラム	平成24～28年度	工学部
医学・医療の高度化の基盤を 担う基礎研究医の養成	柴三郎プログラム:熊本発 基礎研究医養成	平成24～28年度	医学教育部
課題解決型高度医療人材養成プログラム (医師・歯科医師を対象とした人材養成)	国内初の、肝臓移植を担う高度医療人材養成	平成26～30年度	附属病院

# 土地・建物面積

## 土地・建物面積

(H29.5.1現在)

区 分	土地(m <sup>2</sup> )	建物延面積(m <sup>2</sup> )
<b>黒髪北地区</b>	169,619	70,115
文学部・法学部・社文・法曹		13,684
教育学部		15,998
附属図書館		8,884
学内共同教育研究施設等		15,955
その他		15,594
<b>教育学部東教場</b>	26,375	5,949
教育学部		1,758
特別支援		4,164
その他		27
<b>黒髪南地区</b>	115,176	95,953
理学部		13,007
工学部		42,261
自然科学研究科		17,653
国際先端科学技術研究拠点施設(IRCAST)		2,081
学内共同教育研究施設等		12,243
本部		4,237
その他		4,471
<b>本荘北・中地区</b>	107,551	191,996
医学部		51,768
附属病院		111,388
発生医学研究所		6,293
エイズ学研究センター		2,165
動物資源開発研究施設		8,721
遺伝子実験施設 アイソトープ総合施設		5,421
国際先端医学研究拠点施設(IRCMS)		3,041
その他		3,199

区 分	土地(m <sup>2</sup> )	建物延面積(m <sup>2</sup> )
<b>本荘南地区</b>	25,761	14,082
医学部		13,784
こばと保育園		298
<b>大江地区</b>	51,264	17,466
薬学部		17,192
その他		274
<b>京町地区</b>	51,547	13,167
附属小学校		7,282
附属中学校		5,885
<b>教育学部附属幼稚園</b>	4,632	1,199
附属幼稚園		1,199
<b>大江総合運動場</b>	39,752	3,734
大江総合運動場		3,734
<b>合津マリンステーション</b>	4,903	1,653
マリンステーション		1,653
<b>イノベーション推進機構(地域共同ラボラトリー)</b>	(19,945)	2,085
地域共同ラボラトリー		2,085
<b>その他</b>	63,112	27,957
<b>合計</b>	659,692	445,356



組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティミュージアム

沿革略図

沿革略年表

# 8 キャンパス

## 位置図



### 1 黒髪北地区、黒髪南地区、教育学部東教場

(本部棟、附属図書館、文、教育、法、理、工、社文科研、自然科学研等)

- ◎JR熊本駅から  
産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘(子飼橋経由)「熊本大学前」下車
- ◎JR上熊本駅から  
都市バス：第一環状線、昭和町線(子飼橋経由)「子飼橋」下車、徒歩10分
- ◎JR竜田口駅から  
産交バス：交通センター行き「熊本大学前」下車
- ◎交通センターから(16番のりば)  
産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘、大江行き等(子飼橋経由)「熊本大学前」下車

### 2 本荘北・中・南地区

(医学部・附属病院等)

- ◎JR熊本駅から  
都市バス：第一環状線等(大学病院・大江渡鹿経由)「大学病院前」下車
- ◎交通センターから(5番のりば)  
都市バス：八王子環状線、済生会病院・野越団地行き「大学病院前」下車

### 3 大江地区

(薬学部等)

- ◎JR熊本駅から  
市電：健軍町行き(A系統)「味噌天神前」下車、徒歩5分
- ◎交通センターから(18~20番のりば)  
産交バス：木山、沼山津、武蔵ヶ丘行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分  
熊本バス：御船、甲佐、城南行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分
- ◎JR新水前寺駅から  
徒歩10分

### 4 京町地区

(附属小学校・附属中学校)

### 5 城東地区

(附属幼稚園)

### 6 学生寄宿舍、国際交流会館

### 7 大江総合運動場

### 8 合津マリンステーション

- ◎JR熊本駅・交通センターから(6番のりば)  
産交バス：本渡、天草国際ホテル行き「前島」下車

### 9 地域共同ラボラトリー

- ◎交通センターから(26番のりば)  
産交バス：阿蘇くまもと空港行き(空港リムジン)「阿蘇くまもと空港」下車、車で5分



組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティ・ミュージアム  
沿革略図  
沿革略年表

# 主要施設等配置図

## 【黒髪北・南地区 教育学部東教場】

### ■黒髪北地区

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号  
TEL.096(344)2111

- 1 黒髪北N1(文法学部本館)
- 2 黒髪北N2(文法学部南棟)
- 3 黒髪北N3(法曹養成研究科自習棟)
- 4 黒髪北N4(文法学部B講義棟)
- 5 黒髪北N5(社会文化科学研究科研究棟)
- 6 黒髪北N6(文法学部北棟)
- 7 黒髪北N7(教育学部音楽棟)
- 8 黒髪北N8(教育学部実習工場)
- 9 黒髪北N9(教育学部西棟)
- 10 黒髪北N10(教育学部本館)
- 11 黒髪北N11(教育学部東棟)
- 12 文書館(資料室)
- 13 愛work
- 14 知命堂
- 15 くすの木会館
- 16 黒髪北設備・管理棟
- 17 黒髪北C1(共用棟黒髪5)
- 18 五高記念館【国指定重要文化財】
- 19 附属図書館中央館
- 20 附属図書館南棟・放送大学熊本学習センター
- 21 保健センター
- 22 北地区学生会館A棟
- 23 北地区学生会館B棟
- 24 北地区門衛所
- 25 赤門【国指定重要文化財】
- 26 黒髪北E1(全学教育棟)
- 27 黒髪北E2(共用棟黒髪6及び書庫)
- 28 黒髪北E3(共用棟黒髪6)
- 29 化学実験場【国指定重要文化財】
- 30 環境安全センター
- 31 グローバル教育カレッジ棟
- 32 黒髪北サークル棟1
- 33 黒髪体育館
- 34 黒髪北サークル棟2
- 35 黒髪北サークル棟3
- 36 グラウンド(武夫原)
- 37 プール

### ■黒髪南地区

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号  
TEL.096(344)2111

- 46 黒髪南W1(工学部研究棟Ⅲ)
- 47 黒髪南W2((黒髪)総合研究棟)
- 48 黒髪南W3(共用棟黒髪1)
- 49 黒髪南W4(工学部研究棟Ⅱ)
- 50 黒髪南W5(工学部研究棟Ⅳ)
- 51 黒髪南W6(中央工場A)
- 52 黒髪南W7(中央工場B)
- 53 黒髪南W8(ものづくり実習室)
- 54 黒髪南W9(ものづくり実習室2)
- 55 工学部百周年記念館
- 56 黒髪南C1(共用棟黒髪7)
- 57 黒髪南C2(工学部1号館)
- 58 黒髪南C3(工学部研究棟Ⅰ)
- 59 黒髪南C4(共用棟黒髪2)
- 60 黒髪南C5(ナノ構造解析室)
- 61 黒髪南C6(音響実験室)
- 62 黒髪南C7(共用棟黒髪3)
- 63 黒髪南C8(工学部2号館)
- 64 黒髪南C9(総合情報統括センター)
- 65 文書館
- 66 本部【登録有形文化財】
- 67 工学部研究資料館【国指定重要文化財】
- 68 南地区門衛所
- 69 黒髪南E1(理学部1・2号館)
- 70 黒髪南E2  
(自然科学研究科・理学部総合研究実験棟)
- 71 黒髪南E3(理学部3号館)
- 72 黒髪南E4(理学部4号館)
- 73 黒髪南E5(自然科学研究科研究棟)
- 74 黒髪南E6(自然科学研究科実験棟)
- 75 黒髪南E7(生物系環境音響解析室)
- 76 黒髪南E8  
(極低温実験室・Heガス回収中継室)
- 77 黒髪南E9(エロコロジーシステム実験室)
- 78 南地区学生会館
- 79 FORICO(福利施設)
- 80 黒髪南S1(水理実験棟)
- 81 黒髪南S2(工学部機器センター)
- 82 黒髪南S3(防災実験棟)
- 83 黒髪南S4(黒髪地区RI施設)
- 84 黒髪南S5(埋蔵文化財調査センター)
- 85 黒髪南S6  
(ベンチャーラボ・衝撃極限環境研究実験棟)
- 86 黒髪南S7(インキュベーションラボラトリー)
- 87 黒髪南S8(衝撃実験棟)
- 88 黒髪南S9(研究実験棟)
- 89 黒髪南S10  
(先進マグネシウム国際研究センター溶解精造実験棟)
- 90 黒髪南S11  
(先進マグネシウム国際研究センター成形加工実験棟)
- 91 黒髪南S12  
(国際先端科学技術研究拠点施設(IRCAST))
- 92 工学部仮設校舎A棟
- 93 工学部仮設校舎B棟
- 94 工学部仮設校舎C棟
- 95 工学部仮設校舎D棟  
(北からD-2棟、D-1棟、D-3棟)



### ■教育学部東教場

〒860-0862 熊本市中央区黒髪5丁目17番1号  
TEL.096(342)2956

- 38 黒髪北E8(教育学部東教室)
- 39 黒髪北E9(附属特別支援学校A棟)
- 40 黒髪北E10(附属特別支援学校B棟)
- 41 黒髪北E11(附属特別支援学校C棟)
- 42 黒髪北E12(附属特別支援学校体育館)
- 43 黒髪北E13(すずかけの家)
- 44 プール
- 45 運動場

組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティミュージアム  
沿革略図  
沿革略年表

# 8 キャンパス

組織  
教育研究等  
職員・学生数等  
国際交流  
社会連携  
福利厚生施設  
財政  
キャンパス  
熊本大学  
ユニバーシティミニアム  
沿革略図  
沿革略年表



## 【本荘北・中・南地区】

**■本荘北地区**  
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号  
TEL.096(344)2111

- 1 西病棟
- 2 東病棟
- 3 中央診療棟
- 4 外来診療棟
- 5 管理棟
- 6 旧外来臨床研究棟
- 7 旧管理棟
- 8 山崎記念館【登録有形文化財】
- 9 福利厚生棟
- 10 設備管理棟
- 11 本荘北1(臨床医学研究棟)
- 12 本荘北2(医学教育図書棟)
- 13 本荘北3(医学総合研究棟)
- 14 本荘北4(基礎医学研究棟)
- 15 本荘北5(臨床医学教育研究センター)
- 16 旧医学部臨床研究棟
- 17 看護師宿舎
- 18 第一立体駐車場
- 19 第二立体駐車場

**■本荘中地区**  
〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号  
TEL.096(344)2111

- 20 本荘中1  
(生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設本館)
- 21 本荘中2(エイズ学研究センター、  
生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館)
- 22 本荘中3(国際先端医学研究拠点施設(IRCMS))
- 23 本荘中4(旧医学部講義棟)
- 24 本荘中5(発生医学研究所)
- 25 本荘中6  
(生命資源研究・支援センターRI総合施設、遺伝子実験施設)
- 26 本荘中7(共用棟本荘1)
- 27 本荘中サークル棟1
- 28 本荘中サークル棟2
- 29 本荘中サークル棟3
- 30 肥後医育記念館

**■本荘南地区**  
〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号  
TEL.096(344)2111

- 31 檜樹会館(福利施設)
- 32 本荘体育館
- 33 本荘南1(医学部保健学科A・B・C棟)
- 34 本荘南2(共用棟本荘2)
- 35 本荘南3(医学部保健学科E棟)
- 36 本荘南サークル棟1
- 37 こばと保育園

## 【大江地区】

**■大江地区**  
〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号  
TEL.096(344)2111

- 1 大江C1(薬学部本館)
- 2 大江C2(実験研究棟)
- 3 大江C3(大学院実験研究棟)
- 4 大江C4(薬学部講義棟)
- 5 大江C5(育薬フロンティアセンター)
- 6 大江W1(薬学部動物舎)
- 7 大江W2(共同実験棟)
- 8 大江W3(大江地区RI施設)
- 9 大江E1((大江)総合研究棟)
- 10 大江E2(機器分析施設)
- 11 大江E3(薬用資源エコフロンティアセンター(薬用植物園))
- 12 作業場・器材倉
- 13 蕃滋館(福利施設)
- 14 大江体育館
- 15 宮本記念館
- 16 薬学部資料館
- 17 白山町宿舎3棟
- 18 クラウンド
- 19 薬用植物園



## 【京町地区】

### ■附属小学校・附属中学校 (附属教育実践総合センター)

〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5番12号  
(小学校)TEL.096(356)2492  
(中学校)TEL.096(355)0375  
(教育実践総合センター)TEL.096(325)3282



- 1 附属小学校管理棟
- 2 附属小学校校舎A棟
- 3 附属小学校校舎B棟
- 4 附属小学校多目的ホール
- 5 附属小学校体育館
- 6 附属小学校グラウンド
- 7 附属小学校プール
- 8 附属中学校校舎
- 9 附属中学校西校舎
- 10 コンピュータ棟
- 11 附属中学校体育館
- 12 附属中学校グラウンド
- 13 附属中学校プール
- 14 附属教育実践総合センター

## 【大江総合運動場】

### ■大江総合運動場

〒862-0970 熊本市中央区渡鹿4丁目1番1号  
TEL.096(372)4241



- 1 合宿研修棟
- 2 部室棟
- 3 管理棟
- 4 弓道場
- 5 野球場
- 6 渡鹿体育館
- 7 アーチERY場
- 8 自動車部練習場

## 【城東町地区】

### ■附属幼稚園

〒860-0846 熊本市中央区城東町5番9号  
TEL.096(352)3483



- 1 管理棟遊戯室
- 2 保育室 A棟
- 3 保育室 B棟
- 4 運動場
- 5 プール

## 【合津マリンステーション】

### ■合津マリンステーション

〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津6061番  
TEL.0969(56)0277



- 1 研究飼育棟
- 2 研究実習棟
- 3 研究宿泊棟

## 【地域共同ラボラトリー】

### ■地域共同ラボラトリー

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081の7  
TEL.096(286)1212



- 1 地域共同ラボラトリー
- 2 遠心力試験室

## 9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

# 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

五高記念館は国の重要文化財に指定され、本学のシンボルとなっています。このほかにも、重要文化財等の赤煉瓦建物群や登録文化財となっている建物、また、他のキャンパスで保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等から成る熊本大学博物館の実現を目指しています。

### 五高記念館(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

※平成28年熊本地震による被災のため休館中

1887(明治20)年、明治政府は全国を五学区に分け高等中学校を設置しました。九州全域は第五区となり熊本に第五高等中学校が置かれ、1889(明治22)年には赤れんが造りの本館が現在地に完成しました。1894(明治27)年には第五高等学校と名称が改まり、1950(昭和25)年の閉校までこの地に歴史を刻みました。

建物は小泉八雲や夏目漱石が教鞭をとった当時のままの教室棟で、五高の歴史を語る様々な資料を展示する資料館となっています。

休館日	毎週火曜日、年末年始 (3月～11月は祝日も開館します) (本学の都合上、臨時に休館する場合があります)
開館時間	午前10時～午後4時 (入館は午後3時30分まで)
入館料	無料



▲五高記念館(国指定重要文化財)



▲2007(平成19)年10月10日に行われた開校120周年記念式典の様子



▲復原教室



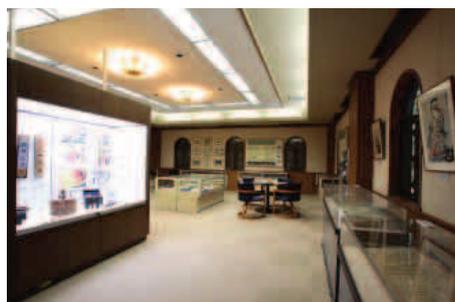
▲入学試験問題

### 熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館) 《大江地区》

開学100年以上の歴史をもつ薬学部に関する貴重な資料や珍しい実験器具の展示をはじめ、くすりの知識などを紹介する様々なコーナーを設置しています。



▲熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館)



▲資料展示室



▲古書



▲調剤器のいろいろ

## 表門(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

通称赤門と呼ばれている五高の表門。本館と同じ時期に建設されました。れんがと石を組み合わせた親柱と袖壁からなり、当初は親柱に表札がかけられていました。門を入るとサインカーブと呼ばれる道が本館まで通じています。



## 工学部研究資料館(国指定重要文化財)

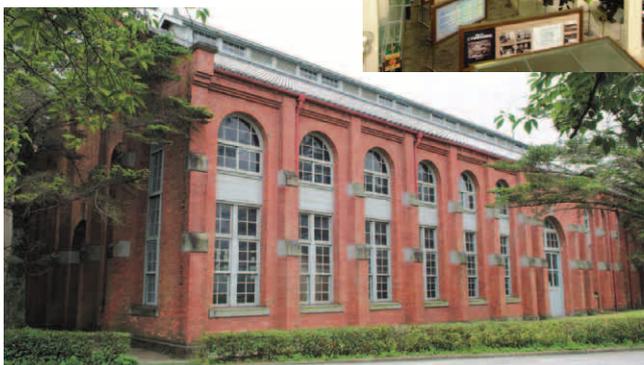
《黒髪南地区》

※平成28年熊本地震による被災のため休館中

旧熊本高等工業学校の機械実験工場として1908(明治41)年に完成し、大学に引き継がれた際に工学部中央工場と改称し、1970(昭和45)年に新工場ができるまで実験工場として使用されました。また、機械技術に関わる歴史的遺産を次世代に伝えようと2007(平成19)年に設けられた日本機械学会の「機械遺産」に、同年、館内の工作機械群とともに認定されました。

下記の開館日はもちろん、オープンキャンパスや大学祭でも、すべての機械を動かして見学していただいています。

開館日	毎月第3木曜日 午後1時～午後4時
入館料	無料



## 化学実験場(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

化学の実験棟として本館と同時期に建設されました。内部には階段教室、薬品室、実験室が一行に並んでおり、当時としては最新の化学実験設備「ドラフトチャンバー」を備えています。2014(平成26)年3月に日本化学学会の化学遺産に認定されました。



階段教室▶

## 山崎記念館(登録有形文化財)

《本荘北地区》

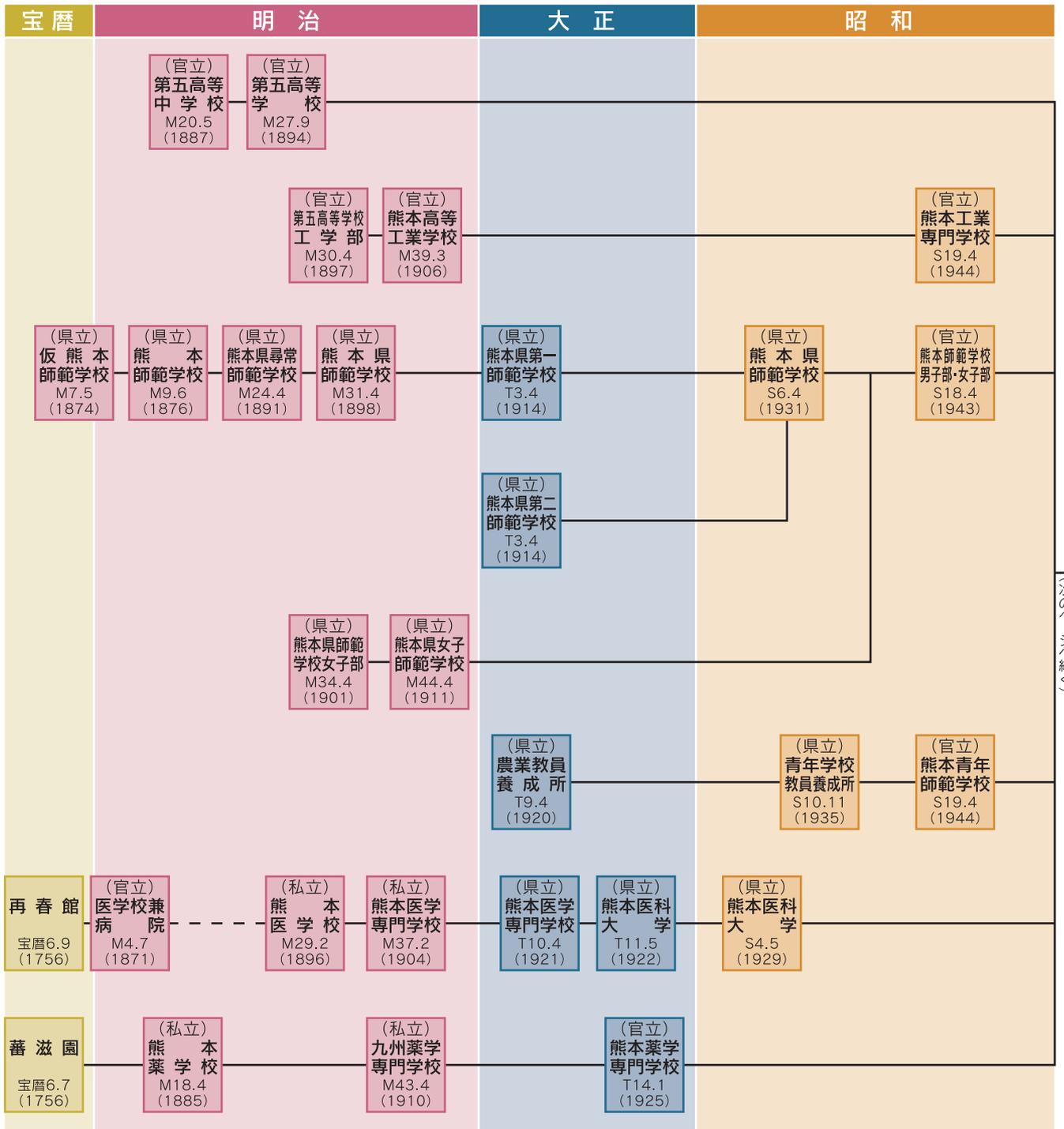
医学部の中興の祖と称えられる山崎正董博士の功績を記念して、1931(昭和6)年に建設されました。内部を一般公開し未永く保存するため、2006(平成18)年、中央診療棟新築の際、建物ごと48メートル移動させました。



▲山崎正董博士像



沿革略図



(次のページへ続く)

歴代学長

	氏名	就任年月日
事務取扱	鰐淵 健之	昭和24年 5月31日
初代	鰐淵 健之	昭和25年 1月18日
2代	本田 弘人	昭和34年 5月26日
3代	柳本 武	昭和40年 5月26日
事務取扱	荒木 雄喜	昭和44年 2月12日
事務取扱	忽那 将愛	昭和44年 4月 5日
4代	六反田藤吉	昭和44年10月17日
事務取扱	黒田 正巳	昭和45年 8月31日
5代	黒田 正巳	昭和45年11月20日

	氏名	就任年月日
6代	岳中 典男	昭和49年11月20日
7代	松山 公一	昭和55年11月20日
8代	松角 康彦	昭和61年11月20日
9代	森野 能昌	平成2年11月20日
10代	江口 吾朗	平成8年11月20日
11代	崎元 達郎	平成14年11月20日
法人化初代	崎元 達郎	平成16年 4月 1日
12代	谷口 功	平成21年 4月 1日
13代	原田 信志	平成27年 4月 1日

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

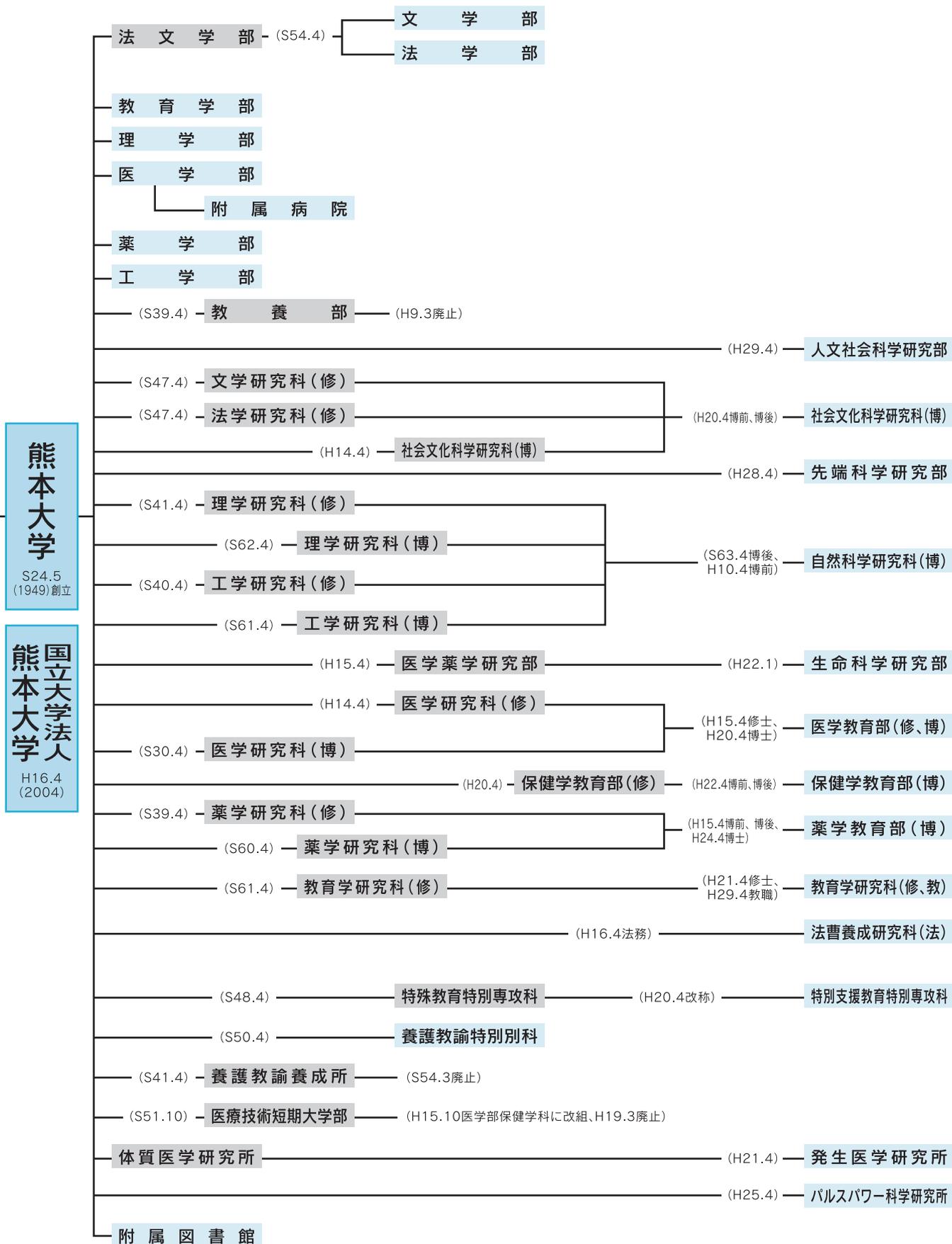
財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティ・システム

沿革略図

沿革年表



※学部・大学院・研究所のみ記載  
※詳細な沿革図は別紙で作成しております。熊本大学公式ウェブサイトからダウンロードできます。URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo/gaiyou/index>

沿革略年表

S24.	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本大学設置</li> <li>法文学部(法学科、哲学科、史学科、文学科)</li> <li>教育学部(小学校教員養成課程、中学校教員養成課程) (附属小学校、附属中学校、附属幼稚園)</li> <li>理学部(数学科、物理学科、化学科、地学科、生物学科)</li> <li>医学部(医学科)(附属病院、附属厚生女学部)</li> <li>薬学部(薬剤学科、製薬学科)</li> <li>工学部(土木建築工学科、採鉱冶金学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科)</li> <li>体質医学研究所、附属図書館(本館、教育学部分館、医学部分館、薬学部分館、工学部分館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学研究科修士課程(数学専攻、物理学専攻、化学専攻、地学専攻、生物学専攻)設置</li> <li>・医学部附属中毒研究施設設置</li> <li>・工学部附属工学研究機器センター設置</li> <li>・養護教諭養成所設置</li> </ul>		
S26.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属厚生女学部を廃止し、附属看護学校設置</li> </ul>	S42. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科電子工学専攻設置</li> </ul>	
S27.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属看護学校助産婦養成科設置</li> </ul>	. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部附属養護学校高等部設置</li> </ul>	
S29.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学部附属臨海実験所設置</li> <li>・医学部附属看護学校助産婦養成科を廃止し、附属助産婦学校設置</li> <li>・薬学専攻科、工学専攻科設置</li> </ul>	S44.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属診療工ツクス線技師学校を附属診療放射線技師学校に改称</li> <li>・工学研究科合成化学専攻設置</li> </ul>
S30.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学進学課程設置</li> <li>・理学専攻科設置</li> <li>・医学研究科博士課程(生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻)設置</li> </ul>	S46.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部附属衝撃エネルギー実験所設置</li> </ul>
.	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部土木工学科、建築学科設置(土木建築工学科を分離)</li> </ul>	S47.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法文学専攻科廃止</li> </ul>
S33.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法文学専攻科設置</li> </ul>	. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学研究科修士課程(哲学専攻、史学専攻、国文学専攻、独文学専攻)設置</li> <li>・法学研究科修士課程(法律学専攻)設置</li> <li>・医学部附属衛生検査技師学校を附属臨床検査技師学校に改称</li> </ul>	
S34.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部鉱山工学科、金属工学科設置(採鉱冶金学科を分離)</li> </ul>	S48.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学研究科英文学専攻設置</li> <li>・特殊教育特別専攻科設置</li> <li>・医学部附属免疫医学研究施設設置</li> <li>・保健管理センター設置</li> </ul>
S35.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部各養成課程の2年課程廃止</li> </ul>	S49.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学部附属薬用植物園設置</li> <li>・工学部環境建設工学科設置</li> </ul>
.	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属図書館教育学部分館を本館に統合、工学部分館を工学部分室と改称</li> </ul>	S50.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭特別別科設置</li> </ul>
S36.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部生産機械工学科設置</li> </ul>	S51.	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療技術短期大学部(看護学科、衛生技術学科)設置</li> </ul>
S38.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部養護学校教員養成課程設置</li> <li>・工学部電子工学科設置</li> <li>・教育専攻科設置</li> </ul>	S52.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部養護教諭養成課程設置</li> </ul>
S39.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学専攻科廃止</li> </ul>	S53.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科環境建設工学専攻設置</li> <li>・医療技術短期大学部診療放射線技術学科設置</li> </ul>
.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属衛生検査技師学校設置</li> <li>・薬学研究科修士課程(薬剤学専攻、製薬学専攻)設置</li> <li>・教養部設置</li> </ul>	S54.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属看護学校、附属臨床検査技師学校廃止</li> <li>・養護教諭養成所廃止</li> </ul>
S40.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学専攻科廃止</li> </ul>	. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法文学部を改組し、文学部(哲学科、地域科学科、史学科、文学科)及び法学部(法律学科)設置</li> <li>・教育学部附属教育工学センター設置</li> <li>・医学部附属動物実験施設設置</li> <li>・工学部情報工学科設置</li> </ul>	
.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部附属養護学校設置</li> <li>・医学部附属診療工ツクス線技師学校設置</li> <li>・工学部鉱山工学科を資源開発工学科に改組、工学部合成化学科設置</li> <li>・工学研究科修士課程(土木工学専攻、建築学専攻、資源開発工学専攻、金属工学専攻、機械工学専攻、生産機械工学専攻、電気工学専攻、工業化学専攻)設置</li> </ul>	S55.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属助産婦学校、附属診療放射線技師学校廃止</li> </ul>
S41.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学専攻科廃止</li> </ul>	. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置</li> </ul>	
.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部特別教科(看護)教員養成課程設置</li> </ul>	S57.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属中毒研究施設及び附属免疫医学研究施設を廃止し、附属免疫医学研究施設設置</li> </ul>
			S58.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学研究科地域科学専攻設置</li> <li>・工学研究科情報工学専攻設置</li> </ul>
			S59.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部附属遺伝医学研究施設設置</li> <li>・体質医学研究所廃止</li> </ul>
			S60.	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学部薬剤学科及び製薬学科を改組し、薬科学科設置</li> <li>・薬学研究科医療薬科学専攻(博士課程)設置(薬剤学専攻、製薬学専攻を改組)</li> </ul>
			S61.	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法文学部廃止</li> </ul>

# 沿革略年表

		・教育専攻科廃止			
	4	・教育学研究科修士課程(学校教育専攻、障害児教育専攻、教科教育専攻)設置			
		・工学部電気工学科、電子工学科及び情報工学科を電気情報工学科に、工業化学科及び合成化学科を応用化学科に改組			
S62.	4	・工学研究科生産科学専攻(博士課程)設置			
		・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置			
		・工学部資源開発工学科、金属工学科を材料開発工学科に、機械工学科、生産機械工学科を機械工学科に改組			
	5	・地域共同研究センター設置			
S63.	4	・教育学部附属教育工学センターを附属教育実践研究指導センターに改組			
		・工学部土木工学科、建築学科及び環境建設工学科を改組し、土木環境工学科、建築学科設置			
		・自然科学研究科博士課程(生産科学専攻、システム科学専攻、環境科学専攻)設置(理学研究科環境科学専攻(博士課程)及び工学研究科生産科学専攻(博士課程)を振替)			
H 2.	4	・工学研究科電気工学専攻、電子工学専攻及び情報工学専攻を電気情報工学専攻に、工業化学専攻及び合成化学専攻を応用化学専攻に改組			
		・理学部生物学科を生物科学科に改組			
	6	・総合情報処理センター設置			
H 3.	4	・工学研究科資源開発工学専攻及び金属工学専攻を材料開発工学専攻に、機械工学専攻及び生産機械工学専攻を機械工学専攻に改組			
		・機器分析センター設置			
H 4.	4	・医学部附属免疫医学研究施設及び附属遺伝医学研究施設を廃止し、附属遺伝発生医学研究施設設置			
		・医学研究科脳・免疫統合科学系専攻(博士課程)設置			
		・工学研究科土木工学専攻、建築学専攻及び環境建設工学専攻を土木環境工学専攻及び建築学専攻に改組			
H 5.	4	・理学部地学科を地球科学科に改組			
H 6.	4	・医学進学課程廃止			
		・理学研究科生物学専攻を生物化学専攻に改組			
	6	・遺伝子実験施設設置			
		・アイソトープ総合センター設置			
H 7.	4	・留学生センター設置			
H 8.	4	・工学部土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、機械工学科、電気情報工学科及び応用化学科を環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科及び物質生命化学科に改組			
H 9.	3	・教養部廃止			
	4	・文学部哲学科及び史学科を人間科学科及び歴史			
		学科に改組			
		・教育学部生涯スポーツ福祉課程設置			
		・法学部法律学科を法学科及び公共政策学科に改組			
		・理学部数学科、物理学科、化学科、地球科学科及び生物科学科を数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科及び環境理学科に改組			
		・理学研究科地学専攻を地球科学専攻に改組			
		・エイズ学研究センター設置			
		・大学教育研究センター(学内措置)設置			
H10.	3	・理学研究科修士課程を廃止			
		・工学研究科修士課程を廃止			
		・附属図書館工学部分室を廃止			
	4	・薬学研究科博士課程に臨床薬学専攻を設置、医療薬科学専攻を薬科学専攻に改組			
		・自然科学研究科に博士前期課程として物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻を設置し、博士後期課程として物質・生命科学専攻を設置			
		・医学部附属遺伝発生医学研究施設トランスジェニック実験室及び医学部附属動物実験施設を廃止し、動物資源開発研究センター設置			
H11.	4	・自然科学研究科博士後期課程生産科学専攻及びシステム科学専攻を生産システム科学専攻及びシステム情報科学専攻に改組			
		・工学部附属衝撃エネルギー実験所及び理学部極低温装置室を整備統合し、衝撃・極限環境研究センターを設置			
		・環境保全センター(学内措置)設置			
H12.	4	・教育学部地域共生社会課程設置			
		・医学部附属遺伝発生医学研究施設を廃止し、発生医学研究センター設置			
		・教育学研究科養護教育専攻設置			
		・自然科学研究科博士後期課程環境科学専攻を環境共生科学専攻に改組			
H13.	4	・文学研究科哲学専攻、地域科学専攻、史学専攻、国文学専攻、英文学専攻及び独文学専攻を人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻及び言語文学専攻に改組			
		・法学研究科法律学専攻を法学専攻及び公共政策専攻に改組			
		・薬学研究科分子機能薬学専攻(博士課程)設置			
		・生涯学習教育研究センター設置			
		・沿岸域環境科学教育研究センター設置(理学部附属臨海実験所の転換)			
		・教育学部附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組			
		・環境保全センター(学内措置)を環境安全セン			

沿革略年表

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学  
ユニバーシティシステム  
沿革略図

沿革略年表

		ター(学内措置)に改称	改組
		・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置	・自然科学研究科博士前期課程(物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(生産システム科学専攻、システム情報科学専攻、環境共生科学専攻、物質・生命科学専攻)を自然科学研究科博士前期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻)に改組
H14.	4	・医学研究科修士課程(医科学専攻)設置	
		・情報プラザ設置	
		・社会文化科学研究科博士課程(文化学専攻、公共社会政策学専攻)設置	
		・総合情報処理センターを総合情報基盤センターに改組	
	10	・インキュベーション施設設置	
H15.	4	・医学薬学研究部設置	
		・医学研究科修士課程、博士課程を廃止し、医学教育部修士課程(医科学専攻)、医学教育部博士課程(生体医科学専攻、病態制御学専攻、臨床医科学専攻、環境社会医学専攻)設置	
		・薬学研究科博士課程を廃止し、薬学教育部博士課程(分子機能薬学専攻、生命薬科学専攻)設置	
		・薬学部附属薬用植物園を廃止し、薬学教育部附属薬用植物園設置	
		・機器分析センター、遺伝子実験施設、アイソトープ総合センター、動物資源開発研究センターを廃止し、生命資源研究・支援センター設置	
		・大学教育機能開発総合研究センター設置	
		・大学教育研究センター(学内措置)を廃止し、教養教育実施機構(学内措置)設置	
	10	・教育学部特別教科(看護)教員養成課程、医療技術短期大学部を改組し、医学部保健学科設置	
H16.	4	・設置者が国から国立大学法人へ変更	
		・法学部法学科及び公共政策学科を法学科に改組	
		・理学部数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科、環境理学科を理学科に改組	
		・法学研究科法学専攻及び公共政策専攻を法学公共政策学専攻に改組	
		・法曹養成研究科設置	
		・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーをベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに改称	
H17.	4	・保健管理センターを保健センターに改称	
		・政策創造研究センター設置	
		・文学部人間科学科、地域科学科、歴史学科、文学科を総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科に改組	
		・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター設置	
H18.	4	・工学部環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科を社会環境工学科、建築学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、情報電気電子工学科、数理工学科、物質生命化学科に改組	
		・薬学部薬科学科を薬学科、創薬・生命薬科学科に改組	
	9	・法曹養成研究科附属臨床法学教育研究センター設置	
	12	・五高記念館設置	
H19.	3	・医療技術短期大学部廃止	
	4	・大学院先導機構設置	
		・生涯学習教育研究センター、政策創造研究センターを廃止し、政策創造研究教育センター設置	
		・eラーニング推進機構設置	
		・教育学部附属養護学校を教育学部附属特別支援学校に改称	
		・教育学部養護学校教員養成課程を教育学部特別支援学校教員養成課程に改称	
		・自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター設置	
	10	・バイオエレクトロニクス研究センター設置	
H20.	4	・地域共同研究センター、知的財産創生推進本部、インキュベーション施設、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを発展的に再編し、イノベーション推進機構設置	
		・文学研究科(修士課程)人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻、言語文学専攻、法学研究科(修士課程)法学公共政策学専攻及び社会文化科学研究科(修士課程)教授システム学専攻を社会文化科学研究科(博士課程前期)公共政策学専攻、法学専攻、現代社会人間学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組	
		・社会文化科学研究科(博士課程)文化学専攻、公共社会政策学専攻を社会文化科学研究科(博士後期課程)人間・社会科学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組	

# 沿革略年表

	・医学教育部(博士課程)生体医科学専攻、病態制御学専攻、臨床医科学専攻、環境社会医学専攻を医学専攻に改組		・大学情報分析室設置
	・保健学教育部(修士課程)保健学専攻設置	・ 7	
	・薬学部附属育薬フロンティアセンター設置	・ 12	・地域創生推進機構設置
	・教育学研究科(修士課程)障害児教育専攻を教育学研究科(修士課程)特別支援教育専攻に改称	H27. 3	・国際化推進機構、国際化推進センターをグローバル推進機構、グローバル教育カレッジに改組
	・特殊教育特別専攻科を特別支援教育特別専攻科に改称	・ 4	・国際先端医学研究機構設置
H21. 1	・国際化推進機構を設置し、留学生センターを国際化推進センターに改組	・ 7	・工学部附属革新ものづくり教育センターを工学部附属グローバルものづくり教育センターに改組
・ 4	・教育学研究科(修士課程)学校教育専攻、特別支援教育専攻、教科教育実践専攻、養護教育専攻及び障害児教育専攻を、教育学研究科(修士課程)学校教育実践専攻、教科教育実践専攻に改組	・ 8	・イノベーション推進人材育成センター(HUREC)をくまもと地方産業創生センターに改組
	・発牛医学研究センターを発牛医学研究所に改組	・ 11	・障がい学生支援室設置
	・文学部附属永青文庫研究センター設置	H28. 4	・教育学部特別支援学校教員養成課程を教育学部特別支援教育教員養成課程に改称
H22. 1	・医学薬学研究部を生命科学研究部に改組		・国際先端科学技術研究機構設置
・ 4	・自然科学研究科(博士前期課程)数学専攻設置		・先端科学研究部設置
	・保健学教育部(博士後期課程)保健学専攻を設置し、保健学教育部(修士課程)保健学専攻を保健学教育部(博士前期課程)保健学専攻へ変更		・生命科学研究部附属臨床研究支援センター廃止
	・薬学教育部(博士前期課程)分子機能薬学専攻及び生命薬科学専攻を、薬学教育部(博士前期課程)創薬・生命薬科学専攻に改組	・ 6	・文書館設置
	・薬学教育部附属薬用植物園を、薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンターに改組		・教養教育機構及び大学教育機能開発総合研究センターを廃止し、大学教育統括管理運営機構設置
・ 7	・生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター設置	H29. 4	・人文社会科学研究部設置
・ 10	・生命科学研究部附属臨床医学教育研究センター設置		・教育学研究科(教職大学院の課程)教職実践開発専攻設置
H23. 6	・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センターを工学部附属革新ものづくり教育センターに改組		・熊本創生推進機構設置
・ 8	・教養教育実施機構を教養教育機構へ改編		・永青文庫研究センター設置
・ 10	・埋蔵文化財調査センター設置		・教授システム学研究センター設置
・ 12	・先進マグネシウム国際研究センター設置		・くまもと水循環・減災研究教育センター設置
H24. 4	・薬学教育部(博士後期課程)分子機能薬学専攻及び生命薬科学専攻を、薬学教育部(博士後期課程)創薬・生命薬科学専攻及び薬学教育部(博士課程)医療薬学専攻に改組		
	・発牛医学研究所附属臓器再建研究センター設置		
H24. 12	・自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター設置		
H25. 4	・衝撃・極限環境研究センター、バイオエレクトロクス研究センターを廃止し、パルスパワー科学研究所設置		
・ 7	・生命科学研究部附属臨床研究支援センター設置		
H26. 5	・総合情報基盤センターを総合情報統括センターに改組		

# 創造する森 挑戦する炎



井上雄彦 記す



## 国立大学法人 熊本大学

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

TEL.096-344-2111 (代表)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp>

平成29年7月発行

「創造する森 挑戦する炎」には、本学が熊本の地で長年培ってきた3つの特質

- 地域に身近で世界とつながる、機動力あふれる総合大学
- 実践的課題解決力を持ち粘り強く取り組む、パワーリーダーの育成と輩出
- 歴史や環境を活かして社会が求めるイノベーションを創出する、知的専門家集団

をわかりやすく伝えたい、そして今後も守り育てていきたいという思いが込められています。

揮毫は、かつて本学に在籍された漫画家・井上雄彦氏にお願いしました。